何かのために sengoku38の告白

著者名	一色正春	発行年	2011年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	214ページ
値段	1,000円	ISBN	978-4023309203
コメント	無数のファイアマン、無数のエンジニア、無数のナイチンゲール・・・無数の匿名のプロフェッショナルのかたがたの献身が、ひときわ心ににしみた3・11以後でした。そこで、そうしたかたがたの思いに近づける一冊を今期のトップに置きます。 尖閣ビデオ流出。 職を賭してまで、なぜそんなことを？ 「私がやらねば、このまま日本はダメになってしまう」――迷いつつも踏み切った海上保安官の思いのたけが、無骨な言葉で訥々と語られます。 大げさでヒーローぶった気負いも、技巧的で華麗なレトリックもない。ひとつひとつの論点が自前でこつこつ組み立てられ、ああものを考えて、それを行動に移すって、こういうことなんだと、しずかに深く胸にしみてきます。 行動した男の説得力。受け入れた妻の信頼。この国を支える人たちのかたちです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
金次郎 ☆☆☆☆☆	急ぎ足でかじったが、面白い。情報操作というのはいつの世になってもあるのだと考えさせられる。 続きをいつか読みたいと思う。			
	50	50P (20分)		2011/07/20 21:07:30
スキニー・ボーイ ☆☆☆☆☆	日本人が知らない、知らないといけないことがあるんだと実感しました。			
	全部	214P (220分)		2011/07/20 20:33:45
kazumura ☆☆☆☆	法や規則の外に正義があったらどうしたらよいか？ たぶん人生に1回ぐらいはこの判断をしないといけない時があるのではないか。			
	全部	214P (200分)		2011/07/20 19:02:21
yoichi ☆☆☆☆	真実を伝えることで、世の中の人に尖閣諸島問題について考えてほしいとの思いから、動画をアップロードしたと説明している。 愉快犯でもなく、衝動的な行動でもなく、著者なりに判断しての行動であったことが分かる。日本の外交が弱腰であること、一般人の防衛、安全保障に対する意識について問題提起をしている。私にはできない。			

	1-208	200P (250分)	80-135	2011/07/11 12:53:12

otanitaku ☆	信念が強すぎて怖い。考え方が固すぎるのでは。 ハンドルネームの意味は結局わからなかった。。。残念			
	85-105、157-184	49P (20分)		2011/06/28 13:01:52

MRMPM ☆☆☆☆	最初と最後だけちょっと読んだが、ビデオの流出事件だけに言及しない展開になっていておもしろかった。 一色さんの今後の人生、少し不安でもあるが、すばらしい人生になることを期待ししたい。いや、そうなると思う。			
	9-12,174-210	39P (30分)	197~	2011/06/27 14:49:48

Ohayo-usagi ☆☆☆☆	事件の顛末と、sengoku38たる筆者の動機、主張が詳しく語られている。ふつうに生活していた自分からすれば、ニュースでその名を遠く聞いていただけの無名の海上保安員である。このような生の声を聴けるとは思ってなかった。 筆者の主張は冷静で、理路整然としており、頭のよい人だと思う。ただし、大前提として、読者にも筆者と同等とはいかないまでも、確かな愛国心が要求される。そうでなくては、筆者の考えを深く共有することは出来ない。それでも、自分がそうであったように、むしろそうでない人々のほうが本書に触れる価値は大きいと思う。 常々思っているが、戦争を知らない僕らの世代は、外交に関して危機意識も薄い。中国・北朝鮮が日本の国土に攻めてくるというような想像を、どれだけの若者がリアリティを持って真剣に考えることができるだろうか。正直疑問である。 「国を守る」ことの意味、愛国心の在り方は、終戦、高度経済成長、バブル崩壊、インターネットによる情報革命を境に、大きく変化してきたのではないだろうか。今日、スポーツや観光旅行以外の機会で、僕らが「日本」という国を意識することはどれだけあるだろう。ましてや、最前線で中国のプレッシャーを感じていた海上保安庁のような方々と、僕ら一般人との意識の違いは、あまりに大きい。特に、僕らのような若い世代にとって、この本を読む意味はそこにあると思う。 自分も今回、一連の事件を考えさせられた。その反省もこめて、この本が、より多くの人に読まれ、外交に対するぬるま湯のような世間の認識に、熱い一石が投じられることを期待する。			
	全部	214P (180分)		2011/06/25 15:28:37

kasey ☆☆☆☆	彼が考えていることはよくわかるし、同意するべきこともたくさんあるのです。私にはそれだけの行動力はなかったでしょうし、事なかれ主義の中でごまかして生きてしまうでしょう。彼の思いを知ったことは、無駄ではなかったと思うのです。 それでも、法に反してしまったらきちんとした効力を発揮しないのだということも、この本で知りました。 法に反することなく行動を起こすことがどれだけ難しいとしても。			
	全部	214P (120分)		2011/06/20 13:34:05

竜馬 ☆☆☆☆	ハンドルネームであるsengoku38の意味が知りたい人は読まないことをおすすめします。			
	1-214	214P (120分)	174-184	2011/06/16 09:07:13

WILS ☆☆☆☆☆	尖閣諸島の問題を当時は深く考えていなかった。 この本を読んで思ったのは、このような弱腰の外交が続けば日本の安全が脅かされるのではないか、という恐怖である。 共感できる内容が多く、自分もこのままではいけないと強く思った。			
	1-214	214P (120分)	63-76	2011/06/15 13:27:58

ROZE ☆☆☆☆☆	日に日に風化くこの問題の本質がよくわからないため、尖閣ビデオを流出した海上保安庁職員のこの手記を読んでみることにした。当初報じられていた愉快犯説などとけはなれた行動がビデオ流出だったということがよくわかった。多くの人が共感できる内容だと思う。 「いじめられっこは、反撃しないからいつまでもいじめられる」 国際社会の中の日本の現状の例えとして絶妙だと思います。 この国は情報統制国家であり、マスメディアの情報収集力はかなり貧弱かつ偏向しており国民の意志が反映されない政策が蔓延していることを再認識した。			
	214	214P (150分)		2011/06/13 18:10:21

ARI ☆☆☆☆	考えることが大事であることを教えてくれた本でした。 マスコミの情報・意見を鵜呑みにしていませんか。 考えなければならないことは山ほどあります。 そして考えることによって人は変わり、 そして行動して、日本は変わると思います。			
	全部	214P (180分)	168-173	2011/06/12 17:26:45

そーた ☆☆☆☆	マスコミを批判したり、国の最高機関を批判したり。こういう本でよく言われるのは「より多くの人がこういった現状を知り、自分なりに考える必要がある」ということ。 この本に書かれていたマスコミや国に対する批判は、僕は正しいと思う。けど、もうこの言葉は聞き飽きた。何度も聞いてるのに、また同じことを聞く。何度誰かが唱えても変わらない。 こういう本を読むと、「どうせ変わらないよ」と諦めに似た感情が生まれるし、僕は日本が大好きなんて思っていないので、自分でこの現状を変えてやるという情熱も湧いてこない。			
	全部	214P (180分)	48ページ以降	2011/06/11 13:03:31

たたみ ☆☆☆☆	著者と似たようなことを考えていたので、特に驚くような部分はなかった。日本はちゃんと外交しろ。日本人はちゃんと考えろ。			
	1-214	214P (75分)	特になし	2011/06/07 11:35:14

aira ☆☆☆	まず，命懸けで国を守った人のふつふつと湧き上がる怒りが伝わってきた。中国に対する日本政府の姿勢，マスコミへの失望，あちらこちらで行われている領海侵犯。この本を読めば，一色さんがどれだけ真剣に考え，必死になって行動したかがわかる。そして，領土問題をどう考えるかを。 事件当時，「日本政府の対応は甘すぎる」とか，ビデオの流出について「管理体制はどうなっているんだ」「公務員の守秘義務に背いた」とか，そういう議論が多かった。一色さんが最も考えてほしかったテーマ（１７０～１７１ページ）は，マスコミではタブーだったのだろうか。そんな気もする。 領土問題のように利害衝突の激しい外交問題は，面倒になりそうだからと逃げがち。しかし，好む好まざるに限らず国家という枠組みで外交が動いている以上，本質の議論に取り組まないといけない。 このような職種の，しかも身分も高くない公務員は，立場上，意見を公表するのが非常に難しいだけに，興味深い内容だった。			
	全部	214P (85分)	６３～６９，１１３～１１６，１７０～１７３	2011/06/02 16:55:59

BananaLC ☆☆☆☆☆	いかに自分が尖閣問題のことを知らず、またそれがいかに深刻な問題であるかがわかった。とくに後者。日本人はこういう問題に対する無知の知はあると思うが、重大性に気付いていないと感じた。そして外交においていかに中国が強く日本があまりに弱いのかを痛感した。著者はもっと過激な考えをもってるようなイメージを勝手に抱いていたが、とても冷静に真剣に考えた末の行動だと思った。是非みなさんにも読んでいただきたいですほんとに。			

	全部	214P (150分)		2011/05/31 12:52:55

ma-yu315 ☆☆☆☆☆	あまり興味がなかった話題だったが、本を読んでその考えではまずいと思った。 特に77－84ページに書いてある内容を読むと日本が日本人の物であることがいかに大事なことかを思い知らされる気がする。			
	9-109ページ	100P (90分)	77－84ページ	2011/05/31 12:00:02

ジャック ☆☆☆	あの事件は日本社会に問題があるということを示しました。 著者は深刻に問題を分析したと思います。			
	1-80	80P (60分)		2011/05/30 16:57:08

hana-celeb ☆☆☆	海上保安庁の職員があんなことをするなんて、当時はとても驚いた。 仙石さんは中途採用のような形で入庁したため、まだ職場の色に染まりきれてなかったから、自分の正義を貫こうと思ったのだと思う。			
	1-30	30P (30分)		2011/05/24 17:56:36

tennismagician ☆☆☆	あれだけ騒いでた尖閣問題も、震災で完全にかき消された気がする。 著者も嘆いているのではなかろうか。			
	1-214	214P (90分)		2011/05/19 12:58:59

カレーの妖精 ☆☆☆	動画流出事件は社会に大きな影響を与えたが、衝撃だけが印象として残り、具体的な問題については曖昧なまま終わりを迎えたような気がする。 なぜ動画流出が問題視されたのか、動画は国家機密に値する内容だったのか、領土問題はどのように進展したのか……。 あやふやなままで放置されたそれらの問題を改めて考えてみないか？ という問いかけがなされているように思われた。			
	9-53,174-214ページ	86P (70分)		2011/05/16 12:40:21

ito ☆☆☆☆☆	中国の脅威 というより、日本の弱さがわかる。 鵜呑みにするのは良くないと思うが、危機的状況であることが理解できる。			
	全部	214P (150分)		2011/05/11 14:34:04

スティアーノ ☆☆☆☆	一色さんは彼が考える正義を貫いた人だと思った。彼の行動の賛否を除けば、テレビなどで思っていた人物像とはかなり異なり、正義を完遂した一人の人間として尊敬できる人物だと思う。			
	全部	214P (80分)		2011/05/10 12:19:42

synthemia ☆☆☆	共感できる点は多くある。しかし、だからこそ納得できない部分が目についてしまう気がする。 僕自身はこの本を読んで、「国」と言うことになぜそれまで執着するのか、というのが多少変な気がした。「国」に対して抱く感情に温度差がある。 この人の抱いている正義は、僕らの世代が持っているものより少し、過激なものであると思う。結局、この人は愛国心があって、日本がどこかで良くなってくれると思いたいのだろうと思う。もしくは、国防という環境に置かれているからかもしれないとも思う。 僕は、もっと冷めて見ていると思う。同じ世代の人はもしかしたら似たような感触を得るのではないかと思う。			

	1-214	214P (240分)		2011/05/04 14:12:08

lack ☆☆☆☆	結局のところこの事件は日本社会に問題があるということを示す一部であり、この事件の再発を防ぐだけでは意味がないということが分かった。 東日本大震災で政府は団結する思われていたが、いまだにその団結は見えず、国家としての機能を果たせていないように見える。尖閣の事件のことも考えると、日本社会はともかく国家にはかなりの問題があると感じられる。			
	全部	214P (180分)		2011/05/02 14:15:40

晏子_JP ☆☆☆☆	”捜査”時の本人の状況が細かく書かれていた以外は割とどうでもいい。 「知っとるわ、んなもん！」 政府が外交問題について恐ろしく奥手だとか、海保の予算（船・人員・装備）が領海・EEZ面積に対してビックリするぐらい足りないとか、マスコミの大部分は金のためにしか動かないとか、捜査当局は恣意的にしか捜査を進めないだとか、そんなことは、 チョット調べればすぐに出てくる ので。前例も山ほど存在するし。 そういや中国船長について、那覇検察審査会は起訴相当とした模様。（4/19琉球新報の記事）			
	全部	214P (90分)	全部	2011/04/28 00:25:58

ミツヤサイダー ☆☆☆	いやーこの本に書かれている理由には後付感が満載だ。 そこまでの決意が有った人間の行動なら、この本のタイトルが「何かのために」などという曖昧なものになるはずがない。 これだけ大きいことをやったというのに、ほんとうにもったいない。			
	1-214	214P (60分)	185-	2011/04/25 17:26:42

みなみ ☆☆☆☆	世の中、おかしいと思ってもなかなか権力にははむかえないものである。 そんな中真実を世に暴くため国家という権力に立ち向かった著者は勇敢であると思った。 中国は日本に対し何かと口を出してくるが日本はあまり反論しないもどかしさを感じていたので、個人的にはyoutubeに真実をupした著者にはよくやったと言ってあげたい。			
	全部	214P (120分)	106ページ以降	2011/04/22 18:51:05

masa ☆☆☆☆☆	日本人としてあの事件の真の真相を知るのに良いと思うし、知るべきであると思う。日本の報道や捜査当局についても考えることができるのではないかと思う。			
	9-214	206P (180分)		2011/04/19 12:28:15

プンプン ☆☆☆☆	沖縄を見据えた尖閣諸島問題という考えで改めて問題の大きさを認識することができました。youtubeにアップロードする章では「日本人」「公務員」「一個人」のそれぞれの心の動きがレトリックもなく率直に表されていて、読んでいて非常に面白かったです。 「考えさせること」が主張で私情をほとんど挟まない聖人のような考え方は、エゴばかりで生きている自分には多少納得しがたいところなのかと思いました。			
	9-47,98-134	76P (60分)	98-134	2011/04/17 14:36:04

alpaca ☆☆	尖閣沖中国漁船衝突問題についての本。 感想としては普通。領土問題に関心を向けるなら、 別にこの本じゃなくてもいいかなって気がする。 自分は中国韓国嫌いだし、民主党には死んでも投票しないし、 海保は海自に統合すればいいぐらいに思っているので余計に。 本自体は悪くないけど、読んでてイライラしたから☆２つ。			

	全部	214P (90分)	なし	2011/04/15 00:04:58

TOPへ

WikiLeaks アサンジの戦争

著者名	デヴィッド・リー＆ルーク・ハーディング	発行年	2011年
出版社名	講談社	ページ数	350ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4062168502
コメント	情報は誰のもの？ 尖閣ビデオに引き続き、こちらはより世界レベルで問いかけます。 興味深いのは、稀代のハッカーによってリークされた情報が、たとえばExcel 9万行とか、もらったほうが、いったいどこに特ダネが埋まってるんだ！ と叫ばなければならないほどに、厖大な機密情報のかたまりであるという特徴。 ハードカバーのぎっしり本だけれど、具体的なシーンから入る語り口がドラマティックなので、目次から気になったシーンへ直行でどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
McQueen ☆☆☆☆☆	とてもおもしろい。 戦争ばかりしているアメリカの、その正当性を問う内容の内部告発、続きがとても気になります。			
	1-139	139P (150分)		2011/06/29 15:33:10
kasey ☆☆☆☆	アサンジが面白い人であることがわかった。			
	1-270	270P (180分)		2011/06/28 22:26:05
aira ☆☆	題名通り「アサンジの戦争」の内容が事細かに書かれているので，その点には不満はない。しかし，言論の自由や公共の利益とは何か？，メディアの意義とは？，ハッキングという行為をどう考えるか？，機密情報とは何か？，といった一筋縄では答えの出ないテーマについてもっと迫ってほしかった。 もちろん上記のテーマにもある程度言及されているが，どうもアサンジとウィキリークスの波乱に満ちたドラマの記述に力点が置かれているように感じた。執筆者が「イギリスで最も権威ある新聞の一つ」である『ガーディアン』の取材チームであるだけに，考えさせる素材をもっと提供してほしかった。 公電の大量公開によって，人命が危機に晒されたりアメリカのみならず同盟国・友好国の外交政策の利益に深刻な影響を与えると言って，アメリカ当局はウィキリークスの行為を非難した。しかし，今のところ当局が予想した問題は生じていないらしい。それは本当なのか，本当ならなぜ杞憂に終わったのだろうか。 ウィキリークスには激しい批判が殺到したが，もし同じ内容を新聞社単独で調べて公表したら，どのような反応があるのだろう。			
	全部	349P (180分)	１４７～１５０，２８６～３０６	2011/06/22 20:58:06

Ohayo-usagi ☆☆☆☆☆	今や、世界の注目を集める告発サイト、ウィキリークスと、そのトップである、謎の男、ジュリアンアサンジ。 本書の前半は、ほんの数年前まではオーストラリアの無名ハッカーにすぎなかった彼の、スリリングな半生と、イラクの片隅で、祖国アメリカの抱える「秘密」に直面した技術兵・マニングのエピソードが描かれる。 マニングからアサンジへと、情報が渡ったとき、「世紀の機密漏洩」の引き金はひかれることとなった。 イタリアのフラティニ外相の言葉を借りれば、「外交の9.11」とも評され、 ウィキリークスとアサンジの名を世界に知らしめたこの事件であるが、 世界同時公開(厳密にはそうではなかったが。)に至ったその背後には、 著者でもあるデヴィットを始めとした敏腕記者たちを擁する、ガーディアン(英)、 ニューヨーヨータイムズ(米)、シュピーゲル(独)といった権威ある一流既存 メディアたちの強力なスクラムがあった。 超大国アメリカに風穴をあけ、数多の人命を危険に晒す可能性のある世紀の大リークは、 記者たちに、報道者としての「義務」と「責任」について重大な決断を迫ったに違いない。 新進気鋭のウィキリークスと、インターネット時代の到来に改めてそのスタンスを問われ つつある既存メディアたち。だがしかし、この時だけは、新旧メディアは足並みを揃え、 見事な結果を残してみせたのである。 手に汗を握る展開は、読み物としての魅力も十分あると思うが、 これがノンフィクションであることの意味をよく考えるべきかもしれない。 日本のマスコミが海老蔵事件にカメラを回している間に、世界が激動し、 地球上のあらゆるテーブルで繰り広げられたはずの様々な議論。 それらを少しはキャッチアップできたことが、今回一番の収穫であった。			
	全部	350P (300分)	118〜179	2011/05/30 21:26:27

lack ☆☆☆	個人の情報公開することとプライバシー保護することをどこで折り合いをつけるかが難しい世界になっている気がした。それと同時に現在の社会はある一定の力ある組織が統治し、その他を虐げていることが徐々に明るみに出てきた世界になっている気がした。			
	全部	350P (300分)		2011/05/24 10:32:49

otanitaku ☆☆☆	WikiLeaksの誕生やアサンジの生い立ちが書いてあったが、アサンジが変人すぎて感情移入しにくい。 むしろ２章の技術兵の告発までの経緯の方が感情移入できて面白かった。			
	8-91,172-221	132P (90分)	18-33	2011/05/23 14:37:36

ito ☆☆☆	当時WikiLeaksの事件に興味を持たなかった自分には、事件とともに事情を知ることができ、ためになった。 WikiLeaksが一方的に批判されるイメージを持っていたが、見方が変わった。			
	18-55,60-80,196-221,264-306	132P (120分)	264	2011/05/17 14:57:28

ARI ☆☆	WikiLeaksの誕生、行動がここに。 ジュリアン・アサンジの生い立ちも（第3章：35-57ページ）。 読みにくかったというのが感想。 全体を通じて流れがあるが、各章で読むのも可。 全体像をつかみたかったが、各章が非常に細かく、 自分の能力ではまとめ切れなかったという感じ。 個人的にはブラッドリー・マニングの心境が、 一番記憶に残った。

	全部	350P (420分)	18-33, 35-57ページ	2011/05/15 18:35:51

晏子_JP ☆☆	本書における知見。 暗黙の認識が陽の目を見た……以上のことはなにもなかった。 ということのみ。 若干ショッキングな映像の流出事件があったわけだが、誤認による誤射なんてよくある話である。 「ヒューマンエラーのない軍など存在しないニダ」 なんてのはただの妄言。 別に米軍の肩を持つわけではないけど。			
	全部	350P (100分)	表紙	2011/05/09 23:32:48

みなみ ☆☆☆☆	wikileaksの誕生の経緯やその思想を知ることができwikileaksが何なのかを知るのに役立った。 またwikileaksに対してあらゆる妨害工作をとったアメリカ政府とそれに対抗する組織の攻防戦は読んでいてとても面白かった。 12章の内容はハニートラップの様な気しかしなかった・・・			
	all	349P (240分)	14章以降	2011/04/25 00:59:34

ma-yu315 ☆	売れ残っていたので読んでみたが、自分の興味のあるものでなかった。 ウィキリークスがらみのニュースに興味があり、ずっと注目していた人なら読んで楽しいのかもしれない。			
	8-33ページ、60-91ページ	56P (40分)	なし	2011/04/23 00:45:23

ア・ローブ ☆☆☆	アサンジの生い立ちからWikiLeaksの誕生、そして実際の事件を裏から話すまさに漏洩本。 個人的にはなかなかに読み進みにくい。 今話題になっているWikiKeaksに関することを知りたいなら読んでみてもいいかも。でも読んだからと言って、それほど自分の人生に活かされるわけではないし、今が旬な話というだけなので星は３程度で			
	p35-p92,p117-p136,p323-p349	102P (200分)	p59-p80	2011/04/14 13:09:24

ＴＯＰへ

キュレーションの時代

著者名	佐々木俊尚	発行年	2011年
出版社名	ちくま新書	ページ数	311ページ
値段	900円	ISBN	978-4106036668
コメント	名付け上手な著者さんです。 新しい事象に新しい名前を付けて、具体的な事例をもとに解説してくれるので、すっと入ってきます。ビオトープ＝水たまり。エンゲージメント＝主客一体。なるほどね。 情報の流れ方が今、どんなふうに変わろうとしているのか。現場から語って説得的。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
cibot ☆☆	おもしろいような気がするが、なんかわかりずらい。 使っている言葉のせいなのか例が多いせいなのか。 情報を出しすぎな気がします。			
	1-134	134P (100分)		2011/07/18 00:48:15
MagicKittyGuy ☆☆	結局この本で知ったことはキュレーションという言葉の意味くらい. 全部読んでしまったけど最初の1ページで十分だったかな.			
	1-300	300P (150分)	1	2011/07/07 16:23:57
ジャック ☆☆	はじめは難しそうなので、キュレーション殻読み始めたが、やっぱり本題に入るのが遅いような気がします。			
	202-230	28P (30分)		2011/06/21 20:52:05
ma-yu315 ☆☆☆	キュレーションが出て来る所から読み始めたけれど、横文字のオンパレードで意味がわからないことが多く挫折しました。 アウトサイダーアートの例を使ってキュレーションの説明をしているがこれもわかりずらい。			
	202-248ページ	46P (60分)	210-211ページ	2011/06/14 11:59:39
BananaLC ☆☆	ジスモンチというアーティストを知れてよかった。けれど自分の多趣味さと物知り感を醸し出すような文体が好きではなかった。			

	10-60	51P (60分)		2011/06/07 12:12:56

ssss ☆☆☆☆	評価が分かれているのもうなずける。 斜め読みした時の感想は、この結論を導くのにこれほど冗長な解説がいるのか疑問、というものだった。 結論もありきたりで、おそらく誰もが感覚的に理解しているものだった。 しかし、もう一度丁寧に具体例をなぞっていくと、著者の力量に驚かされる。様々な事件、エピソードについての幅広い教養と、それぞれについて「社会と情報」という文脈の中で理解するための明快な視点を与えてくれる。 結論よりも、むしろ具体例に対する優れた解説のひとつひとつがこの本の魅力だろう。			
	全部	311P (120分)		2011/06/05 23:02:50

QB ☆☆	HMVの閉店した原因として、結局は人なんだよというコメントに尽きる ちょっと具体例の説明が長くて、何を論点としたいのか曇ってる上に、具体例の数が多すぎる。なんか具体例がメインになってる気さえする			
	1-103	103P (90分)	201-265	2011/06/03 12:40:34

shonanboy ☆☆	著者が以前に書いた「2011年新聞・テレビ消滅」は刺激的で面白かったけど、この本は多少冗長な面があっていまいちな感じでした。 伝えたい内容をストーリーなどを引用せず直接的にぶつけてくれたほうが個人的には嬉しかったかな。			
	全部	311P (120分)		2011/05/26 20:44:12

Ohayo-usagi ☆☆☆☆☆	本書について、いろいろといいことを書こうと思ったのだが、 とても反対意見の方が多くてびっくりした。 インターネットを主題に据える本でありながら、本書の話題は、社会を揺るがした犯罪、人知れず生きた天才芸術家、最新のネットサービスなど多岐にわたり、時空を超えた広がりを見せる。興味深い数多の事例を追いながら、読者は我々の社会が辿った消費行動・社会通念の変移を俯瞰することになる。 やがて議論は、TwitterやFaceBookがプラットフォームとなった2011年の社会と、そこから見える未来の景色へと収束していく。 タイトルであり、結論でもある「キュレーションの時代」の到来は、まさにキュレーターである著者自身の十分な力量によって導かれており、一見関連性のないあらゆる社会事象を手掛かりに、１つの見解を示した本書は、単なるネット本に留まらない魅力を放っていると言えよう。 とにかく、濫読には向かないと思うが、読んで損はない一冊である。			
	全部	311P (180分)	201－264	2011/05/23 02:29:40

オクリバントの鬼 ☆☆☆	著者のtwitterでのポストを見たほうが面白い。			
	1-311	311P (120分)		2011/05/20 21:24:50

	一言で言うと「１章から読まなければなんとかなる」 語調おだやかだし、決して難解とは言わないが、どこか読みにくい。 わざわざその言葉を使わなくても、もっと 「ピッタリ」な表現があるんじゃないの？というような部分もちらほら。			

ほたー ☆☆☆	優しくじゃなくて易しく書いて欲しかった、 って、いう、あのよくある・・残念感です。 一節だけ引用 ＞つまりはフォースクウェアというプラットフォームをつくって、 ＞その上でお店や消費者、ザガットサーベイというクチコミ情報ガイドなどが ＞参加することによって繁栄するエコシステムをつくっていこうという方向性になってるわけです。 個人的にテーマはちょっと興味がわくところが多いです。 抽象的な話題については、１つごとの説明や意見が 若干足りない（逸話にそれてばかり？な）印象はありましたが、 好きなら、素直に面白いと思います			
	135-308	174P (60分)		2011/05/17 11:37:49

そーた ☆☆	この本がもし４．５年前に書かれた本で、４．５年前に僕が読んでいたら、それはとても面白かったのではないかと思う。 あんまこの本読んでないけど、「誰もが情報を発信できて、誰もが情報を得ることができる。これって新しいメディアの形だ。素晴らしいことだ。けど情報が正しいのかを用心深く判断できなければならない。」って話なのかなと思った。 あんま読んでないから違うかもしれないけど。 だって、なんか小難しい例とか知識のひけらかしみたいなのが多くて飽きるんだもの。 僕はこの本をキュレーションしません。			
	202-295	94P (60分)		2011/05/09 19:15:11

aira ☆☆	大量消費型の「記号消費」の時代は終焉を迎え，マスメディアは衰退し，情報は「ビオトープ化」する。こういった議論はそれほど目新しくないが，実際のところどうなのかということが書かれているので根拠は理解しやすい。ブログ，ツイッター，フォースクエアといったネット上での人のつながりを通し，他者の視座を得るような情報交換がなされるようになったと主張。 ただし，「他者の視座を得る」という行為は必ずしもいいことばかりとは思えない。また，「プライバシーの話は本論とはあまり関係がない」と言って途中で逃げているが，それは等閑にできるテーマではないはず。新しい情報社会の姿を好意的に描いているが，やや楽観的というか，議論が足りないという印象を受ける。 文体は読みやすい。しかし，具体例が多く冗長である。したがって，一部だけ読んでもわかりにくいと思う。			
	全部	311P (110分)	８９～９２，１６４～１６９，１９５～１９９，２７６～２７８	2011/04/28 15:54:03

ミツヤサイダー ☆☆☆	フェースクエアの説明が一番最初にきたほうが圧倒的に分かりやすい			
	1-311	311P (60分)	135-	2011/04/25 17:18:13

	キュレーションって何って人は最初の一ページ目に答え書いてあるんで本漁りする時にでもチェックしてみて. 今回の大地震で『情報』と言うものの難しさを実感したんでこの本を読む事に決めた. んでもって読んだ結果・・・途中で飽きた（笑） 無意味な例えとか著者の知識自慢が多すぎる．最初はあ～，そんな話もあるんだな～って読み始めたんだけど，飽きる．つまんない．難解用語とかその物語の背景とかを説明してくれないから何書いてんのか良くわかんない．僕って私ってインテリなのｷﾘｯって人は読んでみてもいいかも.			

セシウムっぽいなにか ☆	———とまぁ，ここまでコメント読む限りではどんだけ心が荒んでるのこいつって思われそうなんでこっからは授業に沿ったコメントを． 個人的にこの本は『濫読』するという事には向かないと思う．自分は最初４章と５章を読もうと思って読み始めたんだけど，”視座”やら”チェックイン”やら見なれない言葉が多数出てきたんでわけわからなくなって最初から読み始めた．読む人に知識を要求してくる部分も多いし，本読むのが苦手！って人にはこの本はお勧めできない． どうしてもページ数稼ぎたいんだ！って人は読みやすいからさくさくっと一冊読んでも良いと思う． どうしても本の冊数稼ぎたいんだ！って人は最初の”キュレーション”の意味だけ確認して終わりでも良いとおm・・・ｹﾞﾌﾝｹﾞﾌﾝ．			
	1-274	274P (180分)	0ページ	2011/04/19 01:58:05

hide ☆☆☆	「主客一体」「一座建立」 横文字だらけのこの本の中で千利休が出てきました。 今のつながりと過去のつながりにどういうつながりがあるのか？ SNSのつながりがどう進化していくのか？ 気になる方は見てもいいかもしれません。			
	136-199	64P (40分)	158-160	2011/04/17 16:58:38

金次郎 ☆☆☆	たとえ話が多いので気合い入れたら一瞬で読めます。 視座の考えは共感。			
	全部	311P (60分)	最初のほう	2011/04/10 17:16:01

ＴＯＰへ

これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2010年
出版社名	早川書房	ページ数	380ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4152091314
コメント	大ブームとなった哲学書。 破綻した銀行に公的補助は必要？ のような事例から、ベンサムやらロールズやら、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするする登れてしまう、みたいな。 がっつり取り組んでも実りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断する というつまみ食い法も有効です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Ohayo-usagi ☆☆	途中でギブアップでした。 １つ１つの具体例は興味深いものが多かったが、議題自体は あまりすっと入っていけなかった。与えられた選択肢と、それが 孕む矛盾を、どう受け入れるか。人間と、その思考の不完全さを ひたすらに突きつけられる気がした。 単純なので、ま、いいじゃん、そんなことは、と言いたくなってしまうけれど。 たまには立ち止まって考えるのもありかな。			
	1-172	172P (200分)	18-28	2011/07/20 23:43:45
スキニー・ボーイ ☆☆	法哲学の前に読んでおけばよかった			
	1-100	100P (120分)		2011/07/20 21:33:06
kazumura ☆☆☆☆	家に積ん読してあったものを久しぶりに出してきた。 法哲学の授業を散々受けた後だったので、だいたいの論理構成は既知だった。 しかし、なんで法哲学とか倫理はあんなに説教臭いのか。 もっと文学的で不条理さがあればいいのに。			
	全部	380P (200分)		2011/07/20 19:23:01
	法哲学の授業を受けてからだったので、より楽しめたと思う。なぜ正義か、今こそ考えるべきと思			

モノペーデ ☆☆☆☆☆	う。			
	217-237ページ	21P (30分)		2011/07/19 14:30:47

cibot ☆☆☆☆	前から読みたいと思っていました。 宇佐美先生の授業を受け終わってからこの本を読んだので、それと関連付けて読むことができました。			
	44-99	55P (60分)		2011/07/19 12:58:00

yoichi ☆☆☆☆	社工の某講義の理解を深めるために読んだ。徴兵と傭兵、代理出産、アファーマティブ・アクションなどいろいろな事例を取り上げながら、功利主義、リバタリアニズムやカント、ロールズ、アリストテレスなど、それぞれの哲学・倫理的な思考に触れることができる。自分の正義を改めて考えさせられる。			
	1-360	355P (320分)		2011/07/11 13:16:57

ssss ☆☆☆☆	これからの「正義」の話をしよう 読み終わり、この邦題の秀逸さを感じた。 宇佐美教授の法哲学と連携して、読むことができてよかった。			
	全部	380P (180分)		2011/07/04 12:15:09

吉田 ☆☆☆	人間の感情の変化を分析推論し、実際そのような変化が見られることは興味深い。 道徳上のジレンマの問題に対して、机上の空論感はあるが、そのような自体に陥った際、自分がどう動くべきかを考えておくことは必要だと思う。			
	1-51	50P (40分)	1-50	2011/06/30 01:58:51

MagicKittyGuy ☆☆☆☆	ハーバード白熱教室観てました テレビのほうがディスカッションの感じが伝わってよかったかな でもさっきなんて言ったんだっけと思うことが多いから その面ではこっちかな 議論の面白さ大事さが分かるね			
	1-220	220P (200分)		2011/06/27 17:22:14

WILS ☆☆	人によって答えが違う課題が問われている、といった印象			
	1-28	28P (30分)		2011/06/27 12:32:35

MRMPM ☆☆☆	人間の感情の変化を心理学などにより推論して見せて、実際にそうなるのはとてもすごいし、面白いと思う。でも、それをして何の意味があるのか。道徳のジレンマの話も実際に場面に直面したら私なら全員が助かる方法をぎりぎりまで探すし、きっとみんなもそうするだろと思う。あくまで机上の話。			
	第一章	43P (30分)	39~	2011/06/21 13:03:07

たたみ ☆☆☆☆	テレビ放送を見て彼の話に興味を持ったので、借りてみた。なるほど、たしかに正義に関する多くの事象は二元論では片付けられないものがほとんどであるということが分かる。 なんというか、マイケルサンデルは僕はこう思うってことを全く言わないのに、彼の意志が伝わってくるのには少しビックリした。			

	1-135	135P (40分)	とくになし	2011/06/14 15:55:37

ラモス ☆☆☆	路面電車や橋の議論は、ハーバード白熱教室で以前見たことがあったが、結果は同じであってもその正しさや道徳性は、手を下す人の加害意識に関わってくる事実が、やはり興味深かった。自分ならどうするか？考えれば考えるほど何が正しいのかわからなくなり、サンデル氏の言う対話者と共に考察することの大切さが心に沁みた。			
	9-43	35P (30分)	32-43	2011/06/13 07:22:49

ジャック ☆☆☆	この本に関する授業のあとに読みましたので、読んでいる途中に皆さんの素晴らしいプレゼンを思い浮かべました。 やっぱり正義って人によってそれぞれの判断がありますし、「こうしたら正義だ」とは誰も言えません。			
	ところどころ	150P (120分)		2011/06/10 09:46:05

オクリバントの鬼 ☆☆☆☆	テレビ番組よりまとまっていて、面白く感じた。 ロンドンに行けばベンサムに会えるのか。胸熱ww			
	パラパラ読み	100P (40分)		2011/05/31 15:35:16

そーた ☆☆	本で読むとあんまり面白くない。 テレビで見たほうが面白い。			
	７章	18P (30分)		2011/05/24 10:06:51

晏子_JP ☆☆☆	重要な決断を下す場面に直面したなら、自分の「正義」に従えばよろしい。 最初、「まさよし」と読んでしまいそうになったのは内緒。 あと、邦訳タイトルは微妙な気がする。			
	全部	380P (110分)	ない	2011/05/16 22:29:31

ジョイトイ ☆☆☆	問題を突き詰めていくと哲学や宗教にぶち当たる。 だから哲学や宗教、正義といったことについて考えることは大事だ。 しかし、日本人は無宗教の人が多く、こうしたことを考えることはあまりないのでは？ サンデルさん曰く、道徳をめぐる考察は個人的な内省だけによってなされるものではなく、対話によってなされる。 正義について考えるいいきっかけとなると思う。 読んでると考えさせられるので、個人的にはじっくり読みたくなってしまう本でした。			
	1-51	50P (80分)		2011/05/10 16:59:51

ア・ローブ ☆☆☆	すごく考えさせられる本。 問題の提示、双方の考え方が書かれている。 ただ読むだけではなく、自分なりの意見を持ちながら「そういう見方もあるか」と柔軟に読むと面白い。 凝り固まった思考はよくない			
	44～77,315～334	52P (80分)	58,59	2011/05/10 12:23:10

tennismagician ☆☆☆	授業で取り扱ったところをだいたい読んでみた。 プレゼンで内容が頭に入っていたので、読みやすかった。			
	1-99,217-237	120P (90分)		2011/05/09 13:28:49

Nori ☆☆☆	価値観は多様であるから、「正義」も多様である。そして、その例がこの本で挙げられている。 多様な「正義」が存在することを知り、存在を認めることが正義なのかな。 同じ行為をしていても、人からよく見られたいからそうしているのか、義務を意識しているからそうしているのかで全く違うものであるというカントの説に私は同感する。人からよく見られたいがために、善い行いをしている人に騙されないようにしたい。			
	全体的に	300P (300分)	第8章	2011/04/24 10:51:55

みなみ ☆☆☆☆	「漂流するボートに乗っている人が自分が生き残るために人を殺してもいいのか？」 「５人を救うために１人を犠牲にすることは正しいことなのか？」 といった誰もが食いついてしまう話から哲学の話に持っていっており、普段小難しいと感じなかなか学ぶ機会のない哲学というものを抵抗なく学べよかった。 本の冒頭部の話は東日本大震災の際水などの生活必需品を高値で売り付ける人がいたという話と通ずるところがあり、そのことがどうして間違っているのかあるいは正しいのかを考える上でも参考になると思った。			
	全部	348P (200分)	1章	2011/04/23 01:41:26

shonanboy ☆☆☆☆	正義についての哲学を紹介している。 東日本大震災や福島原発での義援金についての類似点もあったので、考えさせられた。また数年後に読みなおしてみたい。			
	1-300	300P (240分)		2011/04/19 13:04:59

セシウムっぽいなにか ☆☆	『正義』とは一体何なのか．その答えが知りたくて読んでみた．でも結局答えが無いってのがやっぱり答えなんだよね．この手の話はうちらの歳なら嫌ってほど聞いてきたと思う．なんで聞いたことある話は読む必要は無し．知らない聞いたことない話だけ拾って読めばそれで十分．なのでこの本は『濫読』にとても向いている本だと思う． 個人的にはES細胞の話が興味深かったかな．この本読むまでは「うちらがじいちゃんになった時には病気とかES細胞が何とかしてくれるっしょ～！！」とか笑って言ってたけど，これを一部の人に言ったら袋叩きにあうかもしれない．覚えておこう・・・．			
	1-345	345P (260分)	自分の聞いた事無い話の部分	2011/04/19 02:11:19

金次郎 ☆☆☆	論理は痛快でわかりやすい。答えはない考える学問の入門書としては最適です。			
	1-100	100P (30分)		2011/04/10 17:17:38

TOPへ

超訳 ニーチェ

著者名	フリードリッヒ・ニーチェ	発行年	2010年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	232ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4887597860
コメント	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずです、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆	タイトル勝ちのベストセラー本なんだなというのが見え見えという印象。 ニーチェが実際書いたわけではないのにニーチェという名前をだしておけば売れるだろという出版社の思惑が感じられて嫌気がさした。			
	all	232P (150分)		2011/07/20 22:34:09
kazumura ☆	ニーチェは自身の著作について「読みえない」と言っている。 また、読むには「牛のように反芻しろ」とも言っている。 まさかこんな形で人口に膾炙すると彼は考えただろうか。 2000円出すなら、岩波文庫で『道徳の系譜』でも買ったほうがいいと思う。			
	全部	232P (30分)		2011/07/20 18:29:01
金次郎 ☆☆	引き込まれる。心に残る言葉が多い。 売れるのもわかる。			
	100	100P (20分)		2011/07/20 11:07:02
MRMPM ☆☆☆	書店でぱらぱら読みました。実際ニーチェの言葉だからこそ力をもっている。そんな詩集だと思いました。ほかの人が書いてたらだれもかってないだろーなー。			
	1-12	12P (5分)		2011/07/16 19:13:14
きんこ	読みやすかった。 みなさんが言う通り、ニーチェっぽさがない。			

☆☆☆☆	でも、なんか元気が出たので四つ星。			
	全部	232P (60分)		2011/07/05 14:24:46

マキちゃん ☆☆☆☆	以前から気になっていたニーチェさんのことが、知りたくて白取さんに頼ってみた。 そしたらあれ？ニーチェさんの言葉を聞きたかったはずなのに、白取さんなんか知らなかったのに、今私が欲してるのは間違いなく白取さんの言葉・・・。 気付いたら春彦さんのことが好きになっていた・・・みたいな本。 途中まで読んだ感想は、時代は違っても人間考えてることは変わらないんだと思った。 なかなか納得いくことが書いてあった気がする(これ書いた時点は何日か経ってるのではっきり覚えてない)。 これのブッダ版みたいなのも見たことあるけど、最近の人はなんだか弱ってるのかな。			
	1-78	78P (40分)	貴方が感じるところ	2011/06/28 02:04:57

masa ☆☆☆	好きこそものの上手なれというように遊ぶ楽しさから始まりものを極めていくということは重要だなぁ～なんて。 この本ページページで別々なので、濫読には適しているかなと。			
	27-35,75-150	83P (30分)	31	2011/06/27 17:07:30

tako ☆☆☆	好きなところから好きなように格言が読めるのがいいです。 自分に取り入れたい格言もあればそうでない格言もありますが、それがこの本のいいところだと思います。			
	1-232	232P (30分)		2011/06/22 21:56:59

モノペーデ ☆☆☆☆	行為は約束できても完成は約束なんてできないよね。だから永遠に愛するなんて約束なんかできっこないでしょ。でもね、、、 なるほど、よくもこんなに都合のいい解釈ができるものだと感心します。読んでみてください。			
	151-175	25P (15分)	160ページ	2011/06/21 15:06:51

redbull ☆☆☆☆☆	目次から自分が読みたそうなとこを見て読んでみるだけで結構おもしろいとおもわれます。己についてのところで書かれているものは、当たり前なのかもしれないけど、大事なことだと思いました。疲れたときに読むのがおすすめです。			
	001-012	12P (5分)	目次	2011/06/21 12:54:29

kasey ☆☆☆☆	あんまり響く言葉がなかったです。			
	全部	232P (230分)		2011/06/20 13:51:02

	これニーチェでもなんでもなくて、ただの自己啓発本じゃないですか。 訳者が賛同するテーマに沿うような「哲学者の言葉」を引用して 説得力もたせているだけのように見えました。 ついでに「超訳」自体もだいぶ意訳したもののように見えました。 ビタミン剤とか、セカンドハウスとか、ドングリの集合体とか・・ ここも「訳」なんでしょうか？ 名言とか格言を見るのが好きな人って結構います。

ほたー ☆☆	自分もそのきらいはあります。けれどそこだけを本にしちゃってどうするの、とも思います。 少なくとも自分はこれ読んで 「ニーチェもいいこと言ってんのよね（笑）」とか言いたくないですね。 はいはいﾊﾟﾄｽﾊﾟﾄｽ			
	はじめに、112-150、176-214	78P (60分)	目次	2011/06/14 17:32:07

BananaLC ☆☆☆☆	愛の言葉、染みました。			
	151-175	25P (30分)		2011/06/14 12:37:47

がぶりんぐ ☆☆☆☆☆	前に私が見ている「某バラエティ番組!!!」の単発コーナーにて ニーチェの言葉の穴埋めクイズの解説者として出演していた 実はユニークな白鳥晴彦氏の編訳ということで読んでみることに… 白鳥氏が番組内で語っていたように ニーチェの言葉は哲学を知らない興味を抱いたことない人にも 割と分かりやすい内容です。（厳しい言葉もありますが…） 目次を見て、気になるものだけ読んでみるだけでもいいかもしれません。 浅く読むことも、深く読むことも読み手の気持ちで選べる本ですので、濫読には向いていますね。 「超訳」ということで、賛同にしろ反対にしろ ニーチェに興味を持ってもらうことを主旨とした本なのでしょう。 わりと当たり前な内容もありますが、 キリスト教中心の19世紀ヨーロッパという時代背景での ニーチェ思想は、なかなか斬新で深みのある着想だった気もします。 ニーチェの言葉を断片的にとらえていくにしたがい 前述した番組のある出演者のコメントのように なぜか私も本を書きたくなりました!!! 見かけは浅そうで中身は意外に深い話なのかも？			
	1-232	232P (90分)	まずは、まえがきと目次	2011/06/07 10:25:23

otanitaku ☆☆☆	なるほどと思わされる言葉がいくつかあった。 でも思ったより普通の言葉ばっかり			
	1-111	111P (30分)	3	2011/06/06 14:54:03

オクリバントの鬼 ☆☆☆☆	より良い生活へのtips満載			
	パラパラ読み	200P (40分)	16	2011/05/31 15:38:38

たたみ ☆☆☆	期待してたのと違った。超訳ってそういうことか。			
	1-20	20P (3分)	よくわからない	2011/05/31 14:49:24

カレーの妖精 ☆☆☆	いろいろなことが書かれているが、それをどう受け取るかは読者次第。心にすっと入ってくる文章があれば、いまいち理解できない言葉もある。引き込まれすぎないように注意する必要があるかも？			

	1-20,112-121	30P (20分)		2011/05/30 12:24:05

kick ☆☆☆	普段頭の中で考えていることを文章にしてくれたみたいな本。 思考を再確認しつつ、またちょくちょく気づかされるところもある。個人的にはNo.232がすごく大事だと思う。結びとしてはいい文章だった。			
	全部	232P (100分)	145,152,164,232	2011/05/16 17:14:42

Nori ☆☆	普段思う普通のことがまとめて書いてある本である。 だから、特段読む必要はないのではないか。 この程度の内容でベストセラーなのか。 なーんかつまんない世の中だな〜。			
	パラパラと	150P (30分)	特になし	2011/05/16 10:30:10

ジョイトイ ☆☆☆☆	なんか元気がもらえる本です。 きっと「これ、どっかで使えるかも」と思えるフレーズがあるのでは？ ちなみに、私が「これ、使えるかも」と思ったフレーズは 「考えるには三つの条件がいる。人付き合い、読書、情熱だ。」 端的ですきだなー。研究室に入ってきた学部生に使えそう。			
	1-232	232P (120分)		2011/05/10 17:11:10

hide ☆☆☆☆	ぱらぱらめくって響く言葉に出会えればもうけもんなのかなと思います。			
	1-232	232P (80分)		2011/05/09 17:47:07

WILS ☆☆☆☆	考えさせられる言葉がいくつもありました。 ふとした拍子に読み返したくなる1冊です。			
	1-232	232P (120分)	1	2011/05/06 13:24:03

ざっく ☆☆☆	はっとさせられ心に響く名言がズラリ。 手元に置いて、何かに悩んだり、つまずいた時にふと手に取りたい本。			
	1-84	84P (60分)		2011/05/03 10:25:16

12crew ☆	「超訳」＝「意訳をさらに推し進め、訳文の正確さを犠牲にしてでも読みやすさ・分かりやすさを優先させる翻訳手法。ときには大幅な原文の省略を行うことさえある。」 『本書を開くとニーチェの言葉が短く、ほぼ一行で引用されている。 そこに続く言葉が、ニーチェの著書をかみ砕いた解説なのかと思いきや、単に著者の考えを書き記しただけ。 即ち、この本にニーチェの言葉はあるが、ニーチェの言葉を超訳した文章など、どこにも存在していないということだ。』 By アマゾンのコメント 同意。			
	1-100	100P (60分)		2011/04/28 00:03:24

しさん ☆☆☆☆	身近に置いておきたい本です. 疲れた時にまた読み返したい			

	1-232	232P (280分)	190	2011/04/25 22:20:57

のしし ☆☆☆	日ごろモヤモヤしていることや考えていることがスパッと言葉にしてあり、すんなり入ってきます！！ しかも興味のある所だけ読めるので気負いません＊＊ ただ、初めから最後まで同じ調子なのでちょっと途中で飽きちゃいました…。			
	1-84,151-175	109P (50分)	30,34,36,40,78	2011/04/25 19:57:10

トム ☆☆☆☆	こんなに読みやすい本だとは思わなかった。たくさんのメッセージのなかから自分の人生に活かせそうなものを見つけられたら良いと思う。			
	1-232	232P (120分)	3-4, 25, 71, 183	2011/04/20 22:03:53

bob ☆☆☆☆	非常に読みやすい本です。本が苦手な僕でも2時間くらいで読めました。 本の内容から、なるほどーやられたーっと思うのが多数あります。 (でも、当たり前と思うのもちょっとはあったような…) この本を読んで、良かった部分は、人生の参考にしていきたいと思います。			
	1-232	232P (120分)	21,79,120	2011/04/20 19:16:17

プンプン ☆☆	似通った経験があることについて書いてあると、自分が幼いのが認められないこともあり若干独善的であるように感じます。その一方で気づかされる言葉も多いと感じました。			
	112-232	121P (60分)		2011/04/18 19:50:01

チョコミント ☆☆☆☆☆	どの言葉も解説部分を読めば「なるほど」と納得させられます。 目次を見て気になったところだけを読んでも十分楽しめると思います。			
	1-232	232P (90分)	112-150	2011/04/18 16:49:20

QB ☆☆☆☆☆	本が苦手だという人程お勧めです。 ニーチェという人物から、『堅苦しい』や『よくわからない』等のイメージに加えて本の分厚さに、少し圧倒されるかと思いますが、開いてしまえばこっちのモノ(特に166ページを開いてみると……) スラスラ読めるので、読破した後には『こんな分厚い本を読めた！』と達成感から自信を付けるにも持って来いでしょう 内容も19世紀の人とは思えない程、現代にも活かせるありがたい金言が目白押しです。			
	1-232	232P (90分)	53-84	2011/04/15 20:42:44

犬 ☆☆☆☆	認めたくないけど納得させられてしまう言葉がたくさんありました。 あと、非常に読みやすかったです。			
	1-232	232P (90分)	16,40,120,180	2011/04/13 13:41:28

tennismagician ☆☆☆☆☆	どのページを見ても何か得られるものがあると思います。			
	1-232	232P (70分)	1-232	2011/04/13 01:46:59

	至言多し。 晏子や孔子に通じるところも。

晏子_JP ☆☆☆☆☆	あとマーフィー。 とりあえずもう一周する予定。 ツァラトゥストラ＝ゾロアスターだが、ゾロアスターからウルスラグナが連想されるのは自分だけか。			
	1-232	232P (60分)	176-214	2011/04/12 22:59:52

TOPへ

アダム・スミス

著者名	瞠目卓生	発行年	2008年
出版社名	中公新書	ページ数	283ページ
値段	880円	ISBN	978-4121019363
コメント	今さらアダム・スミス？ そう、今だからアダム・スミス。 ご存知「神の見えざる手」は決してメカニカルな自由競争システム礼賛ではなくて、人間と社会に対する深い信頼と洞察に裏うちされたものなのですと、コチコチの古典をゆっくりじっくり吟味しながら、スミスの意図の深奥へと錘が下ろされてゆきます。 『国富論』の陰に『道徳感情論』あり。 経済イコールお金の動き、そんなカサついた先入観が、いつしかやんわり溶かされて、堅苦しい学問のお話なのに、心なごんでしまう不可思議さ。 ただし！ 濫読にはとてもとても不向きです。叡智の女神は根気よく扉を叩く者にしか微笑みません、少なくともこの本の場合は。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
金次郎 ☆☆	難しい。本屋で立ち読みできるレヴェルではなかった。			
	50	50P (15分)		2011/07/20 11:08:27
スティアーノ ☆☆☆	アダム・スミスが倫理のことも考えていたとは知らなかった。ちょっと難しく読みづらかった。			
	1-50	50P (30分)		2011/06/28 14:27:17
Hachi ☆☆☆	とにかく理解するのに時間を要する。まず濫読には向かない本。時間があるときにゆっくり読みたい。 アダム・スミスというと国富論しか注目されないが、（少なくとも自分の中では）道徳感情論と合わせて理解することで、本当にスミスが言いたかったことが見えてくる、らしい。			
	適当に	100P (60分)		2011/06/21 00:32:12
ssss ☆☆☆☆	近代経済学の父、アダムスミス。彼の主要な理論は、神の見えざる手。ここから、市場原理主義者のような印象を彼に持っていたが、そうではないことを教えてくれた。 しかし、途中で挫折した。			
	1-100	100P (60分)		2011/06/02 19:57:58

aira ☆☆☆☆	本が苦手という人には少し厳しいかもしれませんが，本好きな人，経済学に関心のある人にはおすすめ。 アダム・スミスの思想を『道徳感情論』と『国富論』の二冊を基に考察する。スミスがいかに冷静に社会を分析し，経済学の基礎を築いたかがわかった。経済学を人間と離れた無味乾燥なものにしてはいけない。アダム・スミスについての良い入門書だ。 『道徳感情論』もぜひ読みたい。			
	全部	290P (150分)	６５～８５，１３４～１５５，２２５～２３４	2011/05/30 09:44:07

しさん ☆☆☆☆☆	すごい本に出会えたと思う．この本で，アダム・スミスの考えに出会えた．ノーベル賞に経済分野がある意味がわかった気がします． と経済初心者が言っております．"瞠目"しました． 「道徳感情論」は誰しも一度は考えたことがあるのではないでしょうか？簡単ではないですが，難しくはないです．パラ読みでも価値がある本です． 最後に， アダム・スミスの経済学は古典派経済学． ニュートン力学も古典力学．			
	1-290	290P (320分)	102-106,143-155,236-267,269-285	2011/05/28 10:05:51

BananaLC ☆☆☆	パラパラめくってみて難しそうだったので読むのを断念してしまった。とりあえず一般常識としてダムスミスの生涯についての項を読んでおいた。			
	16-21	6P (30分)	16-21	2011/05/15 17:03:32

カレーの妖精 ☆☆☆	アダム・スミスは経済学者だと思っていたが、哲学者としての一面も持っていたことがわかった。道徳哲学について理解を深めたうえで経済理論について考えると新たな発見があるかもしれない。			
	25-39,109-155ページ	62P (40分)		2011/05/12 10:55:34

savon ☆☆☆☆	『道徳感情論』と『国富論』に示されたのは二つの世界ではなく、一つの人類社会である。『道徳感情論』の中で、宗教の自由、経済的自由、商業の美徳、平等などのコンセプトが詳述されて、『国富論』で提唱した「自然的自由の体系」が生き生きとしてきた。 人間が本能（利己心と同情心）によって、神の「見えざる手」の指導で、人間の美徳と社会の福祉と安定を実現することができる。			
	1-285ページ	285P (580分)		2011/05/01 14:09:42

hide ☆☆☆☆	結婚式と葬式に向かう足取りを比べたら、 もちろん結婚式のほうが軽いよね（お財布の中の負担は別にして）。 誰もが出会うであろう日常的な光景と自然な感情から 「真の幸福とは何か」、「徳」の道と「財産」の道、 「見えざる手が成立するための前提条件は？」 等々、ガッチガチのトピックについて語ってます。 論理的に書かれているので理系脳にぴったり。			
	1-140	140P (70分)	70-108,122-134	2011/04/17 17:12:49

ＴＯＰへ

図書一覧
書籍紹介
読者投稿欄
プロフィール一覧
自己プロフィール
掲示板

使える！経済学の考え方

著者名	小島寛之	発行年	2009年
出版社名	ちくま新書	ページ数	224ページ
値段	777円	ISBN	978-4480065094
コメント	ハルサーニの定理がやっと分かったよと某ゲーム理論家の先生。山室はアマルティア・センに少し近づけた気が。 そんなふうに巨人たちのエッセンスをコンパクトに届けてくれる一話完結入門講義の赴きです。「法哲学」のおともにも最適。 例題、解いてみる？「ピッチャー１杯分のビールを、形の異なるグラスを持ったｎ人に公平に分けるには？」 早くしないと泡が消えちゃうよー。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆☆	経済学の本としては勉強になるところが多くよかった。 ただ日常生活で使える経済学の考え方なのかは疑問			
	all	224P (180分)		2011/07/20 22:02:43
aira ☆☆☆	数学科出身の経済学者らしい発想で書かれている。 一般人に向けた入門書だが，理系の思考様式に慣れている人向け。 つまり，東工大生なら「使える考え方」になるかもしれない。			
	全部	235P (100分)	２０８～２１７	2011/05/24 22:51:43
なかむー ☆☆☆☆☆	平等をどう考えるかというテーマのところだけ読んでみた。 ジニ係数と税の関係やジニ係数の表す平等とは何かなど述べられている。 知っている分野だったのでさらっと読めた。			
	111-144	34P (15分)		2011/05/10 09:57:00
ma-yu315 ☆☆☆	最初はスラスラ読めてそれなりに楽しかったが、本題の内容からそれて、経済学者の生い立ちなどの無駄話が少し読んでいてイライラする。 理系の人間にとっては、数学の基礎的な話も少しうざい。			
	7-120ページ、172－194ページ	135P (120分)	172－177ページ	2011/04/28 14:50:12

Hachi ☆☆☆	「経済学」と聞いて「幸福」「公平」「自由」「平等」「正義」というワードが思い浮かばなかった人に、ぜひおすすめの本。巷で騒がれている「如何にお金を稼ぐか」本とは違い、上記概念を数学的思考を持って考察していくというモノ。これを読むとアメリカでは経済学は理系に分類されてるっていうのも納得。 みんなが「幸福」になるためには、「自由」で「平等」な社会が必要って言うけど、誰にとっての「幸福」か？どんな「自由」か？「平等」ってどういうことか？は人によってバラバラ。ただ大きな声を出して「自由だ〜！！」って叫ぶだけじゃダメなんだってこと。 ピッチャー一杯を形の違うコップを使って、三人でどのように分けるか？これは世界の縮図だと思う。机上の空論だと言われるかもしれないけど、読んでおく価値のある一冊。			
	1-52, 145-237	144P (180分)	1-10	2011/04/17 15:36:24

TOPへ

競争と公平感

著者名	大竹文雄	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	245ページ
値段	780円	ISBN	978-4121020451
コメント	何を以て「公平」と認定しますか？ 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平？ でも、努力と能力は比例しないわけだから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK? 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口を提示してくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆☆☆☆	重い本が多い経済学の本の中では比較的読みやすかった。 特にコラムが面白かったのでコラムだけでも読む価値あり			
	all	245P (150分)		2011/07/20 23:14:11
金次郎 ☆☆☆	ヤバい経済学と個人的には似た毛並みの視点。 出生時の体重が重くてよかったと思う。			
	１００	100P (15分)		2011/07/19 21:17:59
ミツヤサイダー ☆☆☆	市場競争との良いつきあい方を模索していく本。 ある程度手堅い論理は読み取れるが、問題選びを誤ってしまったのか、経済学を展開したかったのにこのテーマでは本論が哲学にある。 「競争と公平感」 競争とはなにか？公平とはなにか？を定めた上で、市場競争との良いつきあい方を捜していこう(公平な社会を作るヒントを探る)と言っているのに、アプローチが散逸してしまっている。 まず、はじめの失敗は「競争」のことを「単なる曲線の交差」と捉えてしまっていることだ（反論はあるかもしれないが、著者の主張からはそう読み取れる）。 私ならば、「競争」とは「ひとつの文化」として捉えるべきだと考える。 具体的には、競争を多様性を持つものとし、その特徴的な形態をケースとして定め、そこに含まれる「ミーム」の構成と、その成り立ちを考える。 なぜそれがその地域では浸透したのか、しなかったのか？その文化はどのようなルールを生み、どのように進化していったのか？ 日本人が初めてその文化に接触したのはどんなシーンだったのか？ その後どんな感情を抱く出来事・事件が起きてきたのか？			

	他の競争文化と衝突したとき、優位に勝利して来たのはどのような文化だったのか？ このプロセスなしに、なぜ「日本における競争とそれを構成する人々振る舞い」を語ることができると思ったのだろうか？ 働きやすさを考える、の章に見られるように、結局著者は「競争とはインセンティブだ」としか捉えていないようだ。			
	1-233	233P (60分)	プロローグ	2011/06/29 21:30:45

jun ☆☆☆	一見なんてことないと思われる問いに対する回答を国ごとに集計・分析し国のこれまでの成り立ちや国民性まで掘り下げて議論している。 読んだページは少ないが「なるほど」と思う箇所がいくつもあった。			
	1-24	24P (30分)		2011/06/29 01:28:22

afob14 ☆☆☆☆☆	不公平感に対する国別のグラフが面白かった。 あと、コラム面白い。コラムだけ読むのもお勧め・			
	1-44	44P (30分)		2011/06/28 10:16:31

がぶりんぐ ☆☆☆☆☆	最終プレゼンテーション前の予習として、さくっと読むことができました。 社会学を数学的に解析しているので、文・理問わずに読みやすい構図になっているところで、 なおかつ分かりやすいのが特におススメです。 競争嫌いの日本人の章が個人的に感じていることと直結して印象に残っています。 「競争と公平感」 正直はっきりした答えがない気がします。 （時代や環境に左右されやすい気もします…） これは、人間が意志と感情を持つ以上永遠のテーマなのかもしれません。			
	1-245ページ	245P (120分)	3-78ページ	2011/06/28 09:52:19

ma-yu315 ☆☆☆	乱読の最初の方に読んでいればよっかたと思わせてくれるほど、各章が独立していて読みやすい本だった。 最近話題の内容も経済格差や労働の話で楽しく読めた。			
	プロローグ、13－22ページ、125－135ページ、159－208ページ	71P (120分)	190－192ページ	2011/06/17 15:06:07

hide ☆☆☆☆	スタートラインが違う状態での競争をどこまで許容するべきか。 バックグラウンドも考え方も違う者同士の競争のためのルールはどのように形作ればいいのか。 のようなことを考えていかなければならないと感じました。			
	p1-233	233P (80分)	P193	2011/06/14 12:49:46

しさん ☆☆☆☆	参考文献の量やばぃぃぃぃぃ。著者はどんだけ研究してるのよ。 ・・・勉強になりますφ(._.) 経済学って幅が広い。株とか景気だけが経済じゃない。 これを改めて教えてくれる本です。 ぜひ読んでみてください。特に経済にへんけんを持っていらっしゃる方。 ついでに、「アダム・スミス」も 行動経済学、神経経済学、・・やっぱ経済学なんだなって思います。 経済勉強したくなる。 この本は経済を勉強する人にはお薦めだと思います。

	あとは、濫読にお薦め！！！最後以外はスラスラいけました。 p193～から注意デス			
	1-233	233P (160分)	1-193	2011/06/12 13:48:52

aira ☆☆☆☆	新書でも難しく書く専門家がいる中で，この本は比較的読みやすい。ただし，この分野にもともと関心があるので，読みやすいと感じてしまうのかもしれない。 格差格差と叫ばれているけれど，どのデータを使い，どのように分析するかによって見解は異なる。さらに，データの癖も熟知しておく必要がある。 著者は著名な労働経済学者なので，雇用と格差・貧困問題との関係について詳しく書かれている。 それ以外にも，いろいろ興味深いトピックがコンパクトに並んでいる。 惜しい点は，構成がちょっと散漫としているかな，と思ったこと。 経済系の人にはもちろん，格差問題に少しでも関心のある人には，この本，読んで損はないですよ。			
	全部	245P (120分)	特定できません	2011/06/06 22:22:57

ARI ☆☆☆☆	市場競争の本当のメリットを知っていますか？ 日本人の競争への考え方って世界的に見てどうだかご存知ですか？ 自分も含めてこのままでは日本は危ない？ 勉強になりました。 人差し指より薬指が長い人は・・・ 夏休みの宿題を最後まで残している人は・・・詳しくは本で。			
	全部	245P (300分)	25-48, 81-89, 96-103, 105-116	2011/06/06 21:21:31

プンプン ☆☆☆	日本人がコネなどを大切にして勤勉さを大切に思わないなら日本が今後世界の中で埋没していくのも当然だなと感じた。 勤勉さはコネや運の反対にあるものじゃないというのが自分の考えです。 この本の書き方はちょっとわかりにくいと感じたので星三つです。			
	最初から第一章	78P (50分)		2011/05/30 22:55:52

モノペーデ ☆☆☆☆☆	競争と公平感というテーマで、多くの研究を参照にしながら社会の問題について取り上げている。テーマの多くがおもしろく、いつまでも飽きずに読ませてくれる。日本に競争嫌いが染みついた理由は何か、資本主義から離れていくことによる弊害は何か、人はどのように不公平を感じるのか、多くの実証研究とともに紹介してくれる。			
	1-233ページ	233P (180分)	105-113ページ	2011/04/18 18:49:20

TOPへ

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	こちらはイタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにていねいに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
スキニー・ボーイ ☆☆☆☆	こんなに人間的で、今までのイメージが変わりました。 経済学は合理性だけでは解けないのかと、驚きながらも妙に納得しました。			
	1~120	120P (60分)		2011/07/20 21:37:49
MagicKittyGuy ☆☆☆☆	人間は必ず合理的な判断で動かない．時間がなくて半分くらいしか読めなかったが，前半だけでも言いたいことはサラッとつかめた．保有効果の話はあるあるでしたね．			
	3-218	215P (150分)		2011/07/20 21:19:09
kazumura ☆☆☆	大量に出ている行動経済学の入門書のひとつ。 気楽に読めます。			
	全部	302P (300分)		2011/07/20 19:04:58
takeshi ☆☆☆	これでもかというほど簡単に書いてある経済学の本格的な書物という印象。経済学の学習入門書としては良いのかも。			
	1-68, 128-141	82P (40分)		2011/07/07 10:51:45
masa ☆☆☆☆	前に経済系の本を読んで面白かったので、もう一冊いってみました。基本的には同じような内容なので、何なりと読めていった印象です。			
	137-218	82P (90分)		2011/06/29 18:57:59

ROZE ☆☆☆☆	心理に関する話は、自分の今後のより良い判断の助けになり、駆け引きのの参考になると思った。 東工大生にしては少し簡単な内容かな。			
	1－120	120P (70分)		2011/06/28 22:36:23

kasey ☆☆☆☆	本格的な経済理論を分かりやすく説明している本です。肩を張らずに読めました。個人的には「プロスペクト理論」「ピーク・エンドの法則」「神経経済学」あたりに興味を持ちました。ただ面白いというだけでなく、日常生活の中でも活かせる内容が多い良い本だと思います。			
	全部	302P (240分)		2011/06/20 14:04:25

ssss ☆☆☆	行動経済学の入門書。 事例が多く、分かりやすい形で書かれている。			
	all	300P (120分)		2011/06/02 19:55:10

ほたー ☆☆☆☆	毎章末にあるまとめの『教訓』欄だけでも面白いです。 「コンコルドの誤謬」「選好の逆転」など、 授業内の発表テーマになったものも多く楽しく読めました。 理論と感情は対立図式ではない、という言葉が印象的でした			
	1-136, 219-299	217P (80分)		2011/06/01 20:09:50

ゲン ☆☆☆	わかりやすくて面白かった。軽く読めるもの良い。			
	全部	302P (180分)	なし	2011/05/26 18:32:34

そーた ☆☆☆	学部の時にこの本を読みました。家電量販店で誰も買わないような超大型テレビが置いてある理由は、日常でも応用できます。 バイト先で、応用して、しかも可愛い後輩に教えちゃいました。 インテリジェンスをさりげなく見せびらかしたい方にはお勧めの本。			
	全部	302P (400分)		2011/05/24 10:15:02

Hachi ☆☆☆☆☆	この本を読めばだいたい他の行動経済学の本の内容も網羅できてると思う。まとめポイントやクイズがあって飽きずに読める内容になっている。時間がなかったら各用語の定義とまとめポイントだけでも読む価値あり。 本当の人間は経済学上の人間より非合理的であり、必ずしも自分の利益にならないことを平気で選択したりもする。そんな人間が損をしないためには、自分の限界を知り、エラーを減らすためにエラーを認めるといったことが重要になるそうだ。			
	1-300	300P (180分)	目次	2011/05/24 01:16:12

McQueen ☆☆☆☆	具体例が多く読みやすいが同じような話が続くので飽きやすいかもしれない。			
	1-136	136P (120分)		2011/05/23 15:54:58

ジャック ☆☆☆☆	「不合理な地球人」という本にちょっと似ている？という感じでした。 二冊とも例を挙げそのトリックを説明するもので、わかりやすかったと思います。			

	1－83	83P (70分)		2011/05/18 10:18:42

りさ ☆☆☆	人の感情はあいまい。人って矛盾のかたまり？？ 今後、巧みな商売手法に惑わされずに生きていく際にこの本を読んでおくと役立つかも。			
	13-136	124P (100分)	35-38	2011/05/14 19:28:46

トム ☆☆☆	読み始めは「なるほど、確かに～」と思って楽しく読めたが後半に進むにつれて飽きてしまった。 教訓や用語の説明をさらっと読むだけでも十分ポイントはつかめると思う。			
	13-136	123P (80分)		2011/05/05 21:43:56

aira ☆☆☆	行動経済学について一般向けにわかりやすく書いてある。数多くの質問を通して，我々がいかに経済学が考えるような道理的な行動をとらないかを実感させる。ただし似たような話が続いて少々飽きるかもしれない。 後半は神経経済学の話。経済学よりも脳科学に興味がある人はこっちだけ読んでもいいと思う。			
	全部	316P (150分)	３８～４１，１９８～２１０	2011/05/05 15:48:14

cibot ☆☆☆	「結果ではなく過程が大切」ということの意味がよくわかった気がする。 社工に入って経済を勉強し始めくらいに読むといいかもしれない。			
	137-218ページ	81P (60分)	190-193ページ	2011/05/03 12:47:56

kick ☆☆	本の題名で興味が沸き読んではみたが、正直読み応えはなかった。ところどころなるほど～と思うところもあったが、全部読むとなると途中で飽きるかも。後半部分まで読むより前半らへんで面白そうなところを拾って読むのがいいかな。			
	全部	316P (400分)	119-136	2011/05/03 00:18:30

ma-yu315 ☆☆☆	他の読者のレビューにもあるように心理学の授業で扱われるような内容があり、新鮮味は感じなかった。 「起きた結果よりプロセスを見ろ」と書いてある190－193ページは納得した気がする。ただしこの考えも著者曰く、自分にとって共感できることだからそう思ったのかもしれない。			
	13－34ページ、138－206ページ、211－246ページ	124P (120分)	190－193ページ	2011/05/02 11:32:36

redbull ☆☆☆	同じような内容で日本人が書いた本でも、『さおだけ屋はなぜつぶれないのか』ってのがありましたね。それを読んでいたので、特に目新しい感じもなかったかなと思いました。			
	20-34,105-118	29P (40分)	105-106	2011/04/26 12:01:53

BananaLC ☆☆☆	刺激的な知識を得たというよりは、ほんとうに「あー、確かに」と思うようなネタがたくさん。いちいち心理学的に解説してくれるのは興味があるところ項目については参考になったが（アンカリング効果など）、それ以外はさらっと飛ばして読んだ。			
	47-94	48P (60分)	64-72	2011/04/19 10:52:29

しさん ☆☆☆	はじめての行動経済学。たしかに、普段の行動に当てはまっている所があった。ただ、目新しい内容はなかった気がします。「教訓」だけ読めばいいかなと思います。 理解しようとしないで、参考程度にと思って気軽に読めました。			

	1-265	265P (180分)	13-18、教訓	2011/04/18 22:57:30

モノペーデ ☆☆	あ、確かにあるあるーなんだけどどれも聞いたことのある内容ばかり。中にはおもしろい内容もあったが思っていたほどそういった内容は少なかった。立ち読みポイントで挙げた80-81ページは少数の法則について。統計学などでよく耳にする大数の法則だが、私たちはそれを少数の場合にも使用してしまっているのか。			
	1-150ページ	150P (90分)	80-81ページ	2011/04/13 16:07:46

TOPへ

予想どおりに不合理 増補版/不合理だからすべてがうまくいく

著者名	ダン・アリエリー	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	314ページ
値段	1,800円	ISBN	
コメント	小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいのに、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせます。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。 そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆☆☆	経済学では人間は合理的に行動すると仮定しているけどやはり全然合理的に行動してないですよね。 そもそも経済学って仮定から間違ってて学問としてどうなのとかふと考えてしまいました。			
	all	314P (200分)		2011/07/20 22:50:50
kazumura ☆☆☆	一体何冊目の行動経済学の本だろうか。 読めば読むほど自分の非合理性が悲しくなる。 合理的経済人に、俺はなる！			
	全部	314P (300分)		2011/07/20 20:55:29
NE ☆☆☆	無料の持つ魔力みたいなのはなるほどと思ったが、すべては成り立たないなと感じた。 一つ一つ違う内容なので、つまみ食いには向いてる。			
	第3章	24P (20分)		2011/07/16 22:45:55
masa ☆☆☆☆	保有効果…自分自身が現実で非常に強く感じるので、すごく共感できました。もっと時間があるときに読みたかったかなと思いました。			
	224-263	40P (30分)		2011/07/15 12:35:46

varen ☆☆☆☆	経済学は合理的な判断という前提がある。が、実際の人間の行動にはお世辞にも合理的とは呼べないことはたくさんある。 不合理な事を好む割に、合理性を求める人間って不思議。			
	1-200	200P (143分)		2011/07/14 16:55:25

吉田 ☆☆☆☆	なるほど			
	224-244	20P (15分)	224-244	2011/06/28 11:50:21

ジャック ☆☆☆☆	先に不合理な地球人と経済は感情で動くを読んで、行動経済学になれましたので、こちらは読みやすかったです。 読みながら考えたいという人はこちらがお勧めです。			
	ところどころ	200P (150分)		2011/06/10 10:01:55

たたみ ☆☆☆☆	予想通り過ぎて読む気がしなくなった。結構知ってる。			
	1-35	35P (5分)	なし	2011/06/07 10:14:36

shonanboy ☆☆☆	内容としては行動経済学を日記調で書かれており、共感できる点があれば物凄く面白く読める。ただ、アメリカでの事例が多く取り上げられているので、個人的にはもう少しコンパクトにまとめて書いてくれたほうが読みやすいなぁと思ってしまいました。			
	全部	430P (150分)		2011/05/31 09:55:30

Nori ☆☆☆☆	社会規範と市場規範。違いを認識し、使い分けをすることは非常に重要なことである。お金で何でも解決できるわけではないし、お金を使わない方がうまくいくこともある。			
	全て	405P (240分)	第４章	2011/05/28 10:05:28

ジョイトイ ☆☆☆☆	人間の不合理さをさまざまな実験によって楽しく書いてる本。 収入の高さだけで男をみる女と結婚することの不合理さを知れますｗ			
	1-430	430P (300分)		2011/05/24 12:36:01

りさ ☆☆☆	自分にも当てはまることばかりで、興味を持って読めるので非常に読みやすい。イケアにはまだ行ったことはないが今度行った時、この本の内容を思い出しそう。でも、不合理なものは不合理のままで改善はされないだろうけど。。。			
	114-144,312-337	67P (40分)		2011/05/24 07:24:18

aira ☆☆☆	行動経済学というよりも心理学実験の例を集めた本だった。ＭＩＴで実施された実験だけに，非常に優秀な人でも不合理に行動するのか，ということがわかる。 おもしろかったのは１０～１１章のプラセボ効果の話。 ついつい無駄な物を買ってしまう，ついつい物事を先延ばしにしてしまう，ブランドに絶対的な信頼を寄せている，という人には薬になる本だ。			
	全部	430P (170分)	４０～４２，７５～７７，１２４～１３６，２８６～３１２	2011/05/23 20:42:01

hide	人間は合理的に活動すると仮定することが、どれだけ現実とかけ離れているのかに気が付くことができる良い本だと思います。			

☆☆☆☆	1-401	400P (100分)	p248の図	2011/05/17 09:28:17

McQueen ☆☆☆☆☆	非常に読みやすいです。 様々な実験が行われるがどれも面白く結果も興味深いものばかり。			
	全部	430P (140分)		2011/05/16 10:23:39

モノペーデ ☆☆☆	不合理だからうまくいくという本題からはちょっとはなれているのかなと感じた。立ち読みポイントはNBAスタープレイヤーのお話。彼らは土壇場で最高級のプレイを見せるが、ほんとにデータ上そういえるか。			
	1-113ページ	113P (90分)	56,57,58ページ	2011/05/02 16:46:20

afob14 ☆☆☆☆	サラッと読めます。行った心理実験などが具体的に書いてあり、とても読みやすかったです。一般に信じられていることが、実験をしてみると実は違うなんて！！			
	29-59	31P (20分)		2011/04/19 19:23:48

ばす ☆☆☆☆	合理的じゃないけどやってしまう。読みながら何度もうなずいてしまった。 やっぱりスターバックスのコーヒーって高いよなあと改めて感じた。			
	1-7章,11章,15章	250P (180分)	各章の最後にある小話	2011/04/19 09:53:53

Hachi ☆☆☆☆	人は経済学でいうところの合理的な存在ではない。損得だけを考えて行動しないその不合理さをユニークな実験で検証していく読んでいて面白い本。ただとりあえず長い。著者の日記をただまとめているような印象を受ける。（直接講義を受けているような感覚にはなるけれども。）第１章の「高い報酬は逆効果」だけでも読む価値あり。			
	序章、第１，２、７，８、１０章	201P (120分)	目次	2011/04/18 23:42:04

金次郎 ☆☆☆	行動経済学を極めれば軽い詐欺を延々と繰り返せる気がする。 ネット関連はこれにつけ込む商売が多い気が。			
	全部	430P (120分)		2011/04/14 18:46:48

TOPへ

不合理な地球人

著者名	ハワード・S・ダンフォード	発行年	2010年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	311ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4023308763
コメント	行動経済学の「コ」の字も知らない超初心者さん向け楽しいガイドブック。 アンカリングもプロスペクト理論もフレーミング効果も、あ、そんなカンタンなことなんだ、と宇宙人さんと一緒に大納得。ナッジもヒューリスティクスもサンクコストも、お、これで呑み会のネタが増えたぜとらくらくマスター。 ベイズの定理になると、ちょっときびしいかな。 そんな感じです。たくさん揃えた行動経済学系の本の入り口としてどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆☆☆☆	既に知っている話がかなりあったが行動経済学の本としては読みやすく行動経済学の入門としてはいい本だと思う			
	all	315P (240分)		2011/07/20 23:24:45
スキニー・ボーイ ☆☆☆☆	さくっとだまされました。 全部読んでみたいです。			
	1~115	115P (40分)		2011/07/20 20:28:21
tennismagician ☆☆☆☆☆	この本で行動経済学が何か分かった。			
	1-311	311P (120分)		2011/07/20 15:58:24
ばす ☆☆☆☆☆	例がたくさんあって分かりやすい。この本を通じて、自分は間違いなく地球人であることが分かった。 一番だまされたのは、この本が訳本でないということ。著者に始まり表紙のデザインから文章まで訳本っぽいのに…			
	1-198, 269-311	241P (150分)	第4章	2011/07/13 18:07:08
MRMPM ☆☆☆☆	参照点依存の話。ここで出てきていたのかと思った。人のケチの神髄に迫る本であるような気もする。			

	79-114	35P (20分)	90-98	2011/07/12 08:34:23

yoichi ☆☆☆☆	行動経済学をわかりやすく解説していて、読みやすかった。自分の行動や判断は果たして合理的か否か、この本で試してみてはいかがでしょう。			
	1-220	220P (160分)		2011/07/12 03:51:06

吉田 ☆☆☆☆	クイズ形式で読みやすく、わかりやすい。			
	1-311	311P (150分)	58-63	2011/06/28 11:52:22

bob ☆☆☆☆	僕は不合理な人間でした。 合理的になれるようがんばります。			
	全部	311P (180分)	P94あたり	2011/06/27 18:21:15

ミツヤサイダー ☆	不合理とタイトルをつける行動経済学の本に期待しない。 と思ったが、時々数式やグラフを使ってまともに説明している。 トピック自体は悪くないが2010年に出すような本じゃない、時代遅れ。 今出すんだったら、もうちょっとちゃん(精密に)とモデル化なり解釈をして、分かりやすく書けるはず。(教授なんだし)			
	1-311	311P (60分)	75-132	2011/06/24 17:18:54

masa ☆☆☆☆☆	基本的な内容で、非常に読みやすく、面白いです。 ちょっともう一回しっかりと読みたいので、自分で買ってみようかと思います。			
	全部	311P (150分)		2011/06/18 14:16:41

がぶりんぐ ☆☆☆☆☆	立ち読みポイントは、各章冒頭のクイズと解答です。 ぜひ、チャレンジしてみてください （これだけで、18ページ稼げます!） 本文中にも、適宜読者への問題がクイズ形式で投げかけられていて、工夫に満ちています。 枠外にはキーワードが記されていて 経済学・経営学のワンポイントが身に付きますよ! 「合理的」と「地球人的」って、案外違うものですね			
	1-311	311P (150分)	9-10,27-28,73-74,133-134,157-158,199-200,237-238,269-270,301-302	2011/06/15 11:48:30

ほたー ☆☆☆☆☆	構成がきれいな作りで読みやすく、内容も分かりやすくて面白かったです。 クイズ形式の部分が多く、サクサク読めると思います。 県の面積に占める琵琶湖の割合、分かりませんでした。笑			
	全部	311P (180分)	45-47,58-63	2011/06/14 16:55:30

トム ☆☆☆☆	行動経済学の本は以前も読みましたが、こちらの方が分かりやすくスラスラと読めました。クイズ形式になっているので読みやすく面白いです。前回はあまり理解できなかったプロスペクト理論も今回でやっとわかった気がします。			

	全部	311P (150分)		2011/06/11 10:54:08

ARI ☆☆☆☆	すっかり騙されました。 体験型の本で難しい用語も実感して勉強できます。 経済学とつくと読みにくいイメージでしたが、 読みやすく面白かったです。 授業に出てきたもので興味のあるところだけ読むのもありかも。 こんなに騙されるとは・・・理系失格かもしれない・・・			
	全部	311P (300分)	問題を全部？	2011/06/10 15:57:40

BananaLC ☆☆☆☆	「男女の確率は1/2？」という問題は面白かった。サクッとだまされた！			
	27-72	46P (30分)		2011/06/06 20:25:42

ジョイトイ ☆☆☆☆	当たり前なんだけとよく考えると変な話を真面目に考えられる。 おかしいのはわかっていてもそんなもんだと考えていたことが、わかりやすく説明してあっていい。 不合理さを意識しておくことは大事。			
	1－311	311P (250分)		2011/06/06 15:58:55

shonanboy ☆☆☆☆	絶対的に合理的な宇宙人が登場し、いかに地球人は合理的でないかを経済学者と疑問を通じて説明していく。限定的合理性という表現が骨となり、ストーリーと問題を通じて展開していくため、実践的に理解できる仕組みになっている。事例が多く、また著者が日本の経験があることから、日本人にとっても非常に分かりやすい。 合理的に考えれば同じことを言っているはずなのに、何故か違う答えを選択してしまう。そういった人間の不合理性をロジカルに説明してくれるのでわかりやすい。この本に出てきた事例を友達に試してみようかなと思いました。			
	全部	311P (150分)		2011/05/31 21:45:40

afob14 ☆☆☆☆☆	どんどん読める！ 考えやすい問題がたくさん載っているのでクイズ気分でサラサラ読めちゃいます！			
	1-178	178P (60分)		2011/05/31 09:48:07

プンプン ☆☆☆☆	第1章のテロリストの問題を不覚にも間違えてしまいました。 いわれてみると簡単な問題というのが多いので、ひっかけ問題が好きな人にはお勧めします。			
	第1章、第6章、エピローグ	89P (40分)		2011/05/28 15:52:27

ma-yu315 ☆☆☆	ほかの行動経済の本より、宇宙人と地球人の掛け合いが面白く読みやすい気がする。 すでに行動経済学の本を読んでしまった人は、読んでもあまりあるある体験はできないと思う。			
	159-180ページ、201-221ページ	41P (40分)	特になし	2011/05/23 13:06:45

Nori ☆☆☆☆☆	ホモ・エコノミカスになりたい。 でも、なってしまったらつまらない人生になるかもしれない。 例がたくさん挙げられていて、非常に読みやすい。 団扇の例は間違っているとしか思えないが。			

	全て	311P (180分)	問題45	2011/05/21 10:25:26

alpaca ☆☆☆	前回の授業前に読みたかった。。。orz まぁまぁ。世の中全部が合理的ではないよ。 みんなが合理的に生きようとしたら誰も年金なんて払わｎ(ry 合理的云々よりもすべての例題でそれっぽい名前を出してるのは、読み手がイメージしやすくなる効果とか狙ってんのかなとか。			
	全部	311P (120分)		2011/05/19 17:06:21

りさ ☆☆☆☆	読めば読むほど自分に当てはまってしまい自分の不合理さにあきれてしまう。知識として知っておくのは面白いかも。友達とかがまさに不合理な発言をしていた時に指摘してあげれば話題の一つにもなるかもね。			
	73-132,157-198	102P (50分)	177-181	2011/05/19 06:25:50

aira ☆☆☆	行動経済学の本はこれで３冊目ですが，この本は最も初心者向け。既に他の本で出てきた問題が多かったのでさらっと読めました。行動経済学の本を初めて読む人にはおすすめ。題材が身近なので全部読むのもそれほど苦にならないはず。逆にある程度勉強したことがあるという人なら，わざわざ手に取らなくてもいいでしょう。あるいは，どれだけ経済学的に合理的な解答ができるか試す，というのもおもしろいかもしれません。			
	全部	311P (110分)	第１・５～７章	2011/05/12 17:27:30

カレーの妖精 ☆☆☆☆	短い間隔で具体的な問題が提示されるので、内容が頭に入ってきやすいと思います。 私は主観的確率と客観的確率のところが面白いと感じました。			
	27-132ページ	106P (30分)	124ページ	2011/05/05 08:31:15

ざっく ☆☆☆	行動経済に関する問題が出題されて、自分が合理的と判断した答えが不合理だと指摘される。「なんで！？」と思う気持ちでどんどん読み進めていける一冊。			
	1-132	132P (180分)	1-132	2011/05/03 10:21:04

hide ☆☆☆☆	目の錯覚ならぬ脳の錯覚を感じられる楽しい本でした。一問一答方式なので気になる問題に挑戦してその錯覚を感じてみてはいかがでしょうか？			
	1-311	311P (120分)	p246	2011/04/24 14:40:00

WILS ☆☆☆☆	この本に書いてある通り、不合理な自分がいる。 自分は合理的であるという人に是非			
	1-70	70P (30分)	61-63	2011/04/21 16:25:30

ジャック ☆☆☆☆☆	一見簡単そうな問題を使って人間の不合理性を説明しました、 わかりやすいし面白い。 時間さえあれば最後まで読みたいです。			
	1-115	115P (60分)	5-10	2011/04/20 18:53:13

金次郎	行動経済学は初めてだったが、面白かった。 普通に答えるとほとんど予測通りに動く自分がいます。

☆☆☆☆	全部	311P (60分)		2011/04/10 17:20:41

TOPへ

ヤバい経済学/超ヤバい経済学

著者名	スティーヴン・レヴィット&スティーヴン・Ｊ・ダブナー	発行年	2007年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	379ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4492313787
コメント	行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイタに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。 ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。 リリースされたばかりの、超ヤバい続編もどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆☆☆☆	７勝７敗の力士と８勝６敗の力士が千秋楽で対戦すると７勝７敗の力士の勝率が80%になります！！ これじゃ八百長ってばれても仕方ないですよね・・・			
	all	379P (300分)		2011/07/20 23:31:54
kazumura ☆☆☆☆☆	要約「お相撲さんのカド番での集中力はものすごい。まるで八百長かのように普段の何倍もの実力を発揮。信じられない！」 ・・・というのは冗談で、統計データに基づいた意外性のある事実を多数紹介。 3章に協力したスティール・ヴェンカティッシュの『ヤバい社会学』もおもしろい。フィールドワークを少しでもかじっている人は涙、笑い、そして、調査への真摯な気持ちを抑えることはできないはず。			
	全部	379P (300分)	1章、3章	2011/07/20 18:44:44
プンプン ☆☆☆	経済学の勉強をするつもりで借りたので、もう少し系統だてて書いてある本のほうがよかったです。ストーリーベースで残念でした。			
	1から59	60P (30分)		2011/06/30 17:22:19
マキちゃん	原題のFreakonomicsの方がいいと思うんだけど、誰がヤバい経済学にしたんでしょ 読んだ範囲で言えば、内容は思ったより驚くようなことはなく、かと言ってつまらないわけでもなく・・・			

☆☆☆	気になったとこだけ読めば良かったと思いました(´・_・`)			
	1-156	156P (120分)		2011/06/28 01:45:10

MagicKittyGuy ☆☆☆	経済学の本ではないね. この本に書かれていることが定性的な事実とは言えないかな こんな視点もあるよって感じ あとそんなにヤバくはない			
	1-250	250P (200分)		2011/06/27 17:35:11

redbull ☆	翻訳された本だからということもあるかもしれないですが、くどくてかなり読みにくかったです。 内容もあまり入ってこなかったですし・・・個人的には、あまりお勧めではありません			
	第1章、第4章	78P (60分)	敢えて言うなら1章	2011/06/11 10:47:16

cibot ☆☆☆☆	相撲の八百長の話を読みたいと思ってこの本を選びました。 こういう面白い実証研究ができたらいいなと思いました。			
	1-100	100P (90分)		2011/06/06 16:56:20

ssss ☆☆☆☆	大相撲の八百長をデータからあぶりだしたり、なぜアメリカのマフィアがママと一緒に住んでいるかを経済学的に説明したり。 内容は刺激的だったが、いかにも翻訳本らしい文体が苦手だった。			
	全部	296P (360分)		2011/06/02 20:01:24

hide ☆☆☆	ちょっとデータがくどいところがありますが、人の裏面を考慮したモデル作りの参考になると思います。			
	1-200	100P (40分)	アメリカの犯罪率の減少の理由についての考察のところ	2011/05/31 12:22:24

WILS ☆☆☆	経済学の本のはずなのに内容は全然そんなことない。 結構すらすら読めるけど内容がくどい気がします。			
	1-100	100P (100分)	84-86	2011/05/30 20:15:44

ma-yu315 ☆☆☆	経済学の本だと思って読むと勘違いをするので注意が必要！ 本の中身はノンフィクション系のお話になっている。 本文より増補されたオマケのほうが面白いことにあとで気が付きちょっとショックだった。			
	1-17ページ、61－135ページ、284－307ページ365－369ページ	108P (120分)	295－301ページ	2011/05/06 15:04:28

kick ☆☆☆	世を見る視点が変わっている。それに対する検証結果を分りやすいように記してある。赤ちゃんの名前が人生を左右するのか？完璧な子育てとは？インセンティブとインチキ。さら～と気軽に読めます。			
	全部	296P (360分)	185-226	2011/05/03 00:42:05

bob ☆☆☆	自分が想像していた経済学の本とは違っていた。しかし、ぜんぜん読みやすかったのでOK！！ かなりの濫読で読んでましたが、結果的には,ほぼ全部呼んでしまいました一一! 個人的に、教育・子育てに興味があるので５・６章は面白かったです。子供の成績と、親が持っている本の数や、子供の名前に相関関係があるなんて思いもしませんでした。 データの収集方法とその解析力に脱帽！！			
	第1・2・3・5・6・終章	202P (180分)	173-252	2011/05/02 16:26:10

Hachi ☆☆☆☆	マクロ経済学とは違い「経済学的アプローチ」でいろいろな事象を考察している本。著者の語り口調が面白く、時間があればすべて読みたいところ。ただ基本的には流し読みや拾い読みでいい内容。 特に面白いのは終章の「サルだってひとだもの」。サルにお金の価値を教えて実験した結果。。。			
	適当に	200P (200分)	267	2011/04/30 18:53:12

12crew ☆☆	ひとことで言うと「統計トリビア」。ネットサーフィンした方が断然面白い・・・			
	137－253	120P (60分)		2011/04/19 15:53:30

たたみ ☆☆☆☆	本当は最後まで読みたかったけど、時間がなかった。そんな本。 語り口がやたらフレンドリーで、経済学の本ってイメージじゃない。だがそれがいい。 途中までしか読んでないので結論は出せないけど、まあ、ぶっちゃけ経済学の本じゃないよね。おもしろければすべてよし。			
	1-100	100P (40分)	第1章	2011/04/19 14:41:57

Nori ☆☆☆☆	データは、ただ集めるだけでは意味がない。適切に分析することによって、今までは見えていなかったことを見出してこそ意味がある。まだ見えていないものが数多く存在する可能性があることを思い知らせてくれる本である。			
	1-407ページ	379P (300分)	第6章	2011/04/19 10:21:14

金次郎 ☆☆☆	個人的には中絶と犯罪率の話が一番好き。			
	全部	379P (200分)		2011/04/10 17:21:52

TOPへ

ヤバい統計学

著者名	カイザー・ファング	発行年	2011年
出版社名	阪急コミュニケーションズ	ページ数	317ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4484111025
コメント	ちっとも、ヤバくない。むしろ、地道で平均的。統計学がしっかり実地に役立っている例を10コ挙げて、その有用性を教えてくれます。 「平均」というリアルには存在しない架空の概念を発明し、そこからのばらつきを探したり＝疫病の原因探し、あるいは、ばらつきをどう押さえ込むかを考えたり＝渋滞の解消、平均的な特徴ごとにグループをつくることの意義と落とし穴＝クレジットカード、とか。 苦労しながらせっせとここまで身につけた統計学。さあ自分はどんな局面でこの武器を使おうか。そんなふうに実戦モードで戦場を探すのによろしいかと。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みなみ ☆☆	なんで本のタイトルがヤバい統計学なんでしょう？ 全然ヤバくなかったです・・・ きっとヤバい経済学パクッたんですね・・・			
	all	317P (200分)		2011/07/20 23:35:57
MagicKittyGuy ☆☆☆	半分読んだ上でだが，具体例はとっつきやすいけど，そんなに衝撃的ではない．ヤバい経済学もそうだったけど，そんなにやばくはないかな．いろんな統計，学くらいのタイトルがちょうどいいのではないのかなーと思いました．			
	9-142	133P (90分)		2011/07/20 21:34:35
kazumura ☆☆☆	斜め読みです。 まあ、おもしろ統計寄せ集めという感じです。 ヤバいシリーズのなかでは少し凡庸。			
	全部	317P (150分)		2011/07/20 20:37:56
NE ☆☆☆	統計学で考えると今まで考えなかった考え方が生まれるなと思った			
	第1章	37P (40分)		2011/07/19 11:09:12

varen ☆☆	状況説明が長いせいか、結論がショボいように思える。 タイトルの割に統計学としては内容が浅いので、読んでもしょうがない本であると思いました。			
	1-200	200P (150分)		2011/07/14 16:58:28

マキちゃん ☆☆☆	なかむーさんの紹介で読む箇所を決めました(｀・ω・´) 統計ゼミ中なのでつまらなかったです(╯⊙ ⊱ ⊙╰) ヤバいシリーズなら経済学がおすすめです!!			
	227-250	24P (20分)		2011/07/05 13:38:59

ミツヤサイダー ☆	ちょっとまて、これは統計学じゃなくて算数だ。 5章の宝くじの話だって、四則演算でおかしいってわかるだろ、大学教授がどうこうって話じゃなくて監査委員会がざるだったってだけ。 老人をだまして、「あー、このくじ当たってるけど期限切れだね！100円あげるよ」って言って2000万円受け取るような、すぐに足がつく詐欺。 それをあたかも「統計使えばこんな事もわかるぜ！」みたいに紹介する著者は一体。 そんなことばっかするから「統計学は真っ赤な嘘」って一部の人に言われるんじゃないか。 結局メッセージは「平均よりも分散が分かるといいことある！」しか言えていないし、読み手にはその価値は伝わりづらいだろう。 あえて専門用語を出さなかったつもりだろうが、大失敗だ。 「専門用語を出さない＝専門用語を使わないと説明できないモデルを切り捨てる」 になっている。 そうじゃなくて、 「専門用語を出さなくても、ある程度複雑なモデル化を説明できる」本を書くところがギリギリ合格点だろう。 その際に専門用語を使わなかった代わりに、細かい制約が抜けてしまうデメリットが出ることぐらい読者は許容してくれるはずだ。			
	1-295	295P (30分)	なし	2011/06/28 20:43:09

竜馬 ☆☆☆	数学的な厳密性を無視して、統計を根拠とした主張がなされているので、読んでいてかなり気持ちが悪いです。 宝くじの売上の１００分の１を販売店の店員が購入しているという仮定のもと、宝くじ販売店の店員の不正を主張しているが、仮定が根拠不明であるため、「計算上」とか「論理」といった言葉が虚しく踊っているように感じてしまいます。 たしかに”ヤバい”です。			
	1-317	317P (180分)		2011/06/24 16:28:41

Hachi ☆☆☆☆	なぜこんなタイトルになったのかが謎。やばい経済学のような本だと思って読むと全く違うことにきずく。統計が実際にどのような形で応用されているのかを、身近な例を通して学ぶことができる。 ディズニーのファストパスは待ち時間自体を短くすることに全く貢献していない！しかしながら、客はその効果に満足する理由が興味深い。			
	1-55	55P (30分)	1-55	2011/06/21 00:37:45

カレーの妖精 ☆☆☆	統計学が現実のどのような場面で用いられているかを教えてくれる。統計はすごい。しかし、過信してはならない。			
	9-18,58-112ページ	65P (50分)		2011/06/06 15:05:28

	タイトルは「ヤバい経済学」からひっぱってきただけのか、 原題とかけ離れすぎているのがちょっと残念でした。

ほたー ☆☆☆☆	内容は急いで読み進めたため、消化不良の章がたくさんありそうです。 統計を用いたエピソード自体は面白かったので、部屋でじっくり読み直したいと思いました。			
	9-291	283P (70分)	もくじ	2011/05/27 11:44:37

McQueen ☆☆☆☆	ディズニーランドの例など具体例が取っ付きやすい。 題名に釣られて期待しすぎるとがっかりするかも。			
	全部	292P (90分)		2011/05/16 10:28:41

lack ☆☆☆☆☆	現実に起こる事象を統計学で分析した本だった。 取り扱う内容が面白い上に分かりやすく、非常に読みやすく面白いものだった。			
	１章・３章・５章	114P (120分)		2011/05/10 14:42:00

なかむー ☆☆☆☆☆	自分は統計学者よりだった			
	227-250	23P (30分)	236	2011/05/03 10:09:28

ざっく ☆☆	統計学的切り口で新たな物事の見方を与えてくれてるが、そこに至るまでの説明が長くて読む気が失せてしまう感じがします。。			
	1-54	54P (90分)		2011/04/26 12:51:13

shonanboy ☆☆	統計に人間心理を加えた解決策には感動したが、それ以外は特に統計的な深みも面白いソリューションもなく微妙だった。 ヤバくはない。			
	1-112	112P (120分)		2011/04/25 19:13:47

そーた ☆☆	面白かったのはディズニーのところだけ。状況の説明が長い。その割にその後の展開が単調。統計学者が自分達は絶対間違っていないみたいな姿勢が気に障る。			
	1-56,113-142,225-250	112P (90分)	ディズニーのとこと	2011/04/18 17:35:18

金次郎 ☆☆	タイトル負けしてる気がする。 ヤバさが足りない。			
	1-100	100P (20分)		2011/04/16 21:01:24

TOPへ

ブラック・スワン 上・下

著者名	ナシーム・ニコラス・タレブ	発行年	2009年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	526ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4478001257
コメント	7つの魔法のコトバで世界を変えてみせましょう。 「ブラック・スワン」と「七面鳥」、「月並みの国」と「果ての国」、「ベル・カーブ」に「マタイ効果」に「プラトンの性（さが）」。杖をひとふり、えいっ、さあどうだっ!! 比喩の巧みさ、問題の本質を突くするどさと知的ユーモア。統計学のお勉強のかたわら、どうぞ（ニヤリ）。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
WILS ☆☆☆	結局先のことなんて分からない、ということなんでしょうか 経済とか物理とか哲学とか、いろいろな話が入っていて読みやすい			
	11章	44P (60分)	23	2011/06/20 12:35:07
hide ☆☆☆☆☆	この本を極端に要約しますと 「人は自分が信じたいと望むことを喜んで信じる」by カエサル 「わがんねぇものはわがんねぇよ」byうちのおやじ ってことが書いてます。 どんな物事もガウス分布に落ち着くと勘違いしている方は是非ご覧ください。			
	だいたい全部	526P (300分)		2011/05/24 09:30:28
オクリバントの鬼 ☆☆☆☆	世の中はブラックスワンで動く！ たしかにその通りだなと。			
	1-293	293P (150分)		2011/05/12 17:16:21
kazumura ☆☆☆☆☆	本書はサブプライムローン問題やリーマンショックを予言するかのように出現し、世界中でまさにパンのように売れた。 「不確実性とリスクの本質」という副題にもあるように、人間の認識の限界を哲学、心理学、そして、虚実織りまぜた挿話によって実証的に描き出している。 本書で提示される魅力的な挿話は本書の内容を象徴的に表している。エーコの反蔵書、信仰が報わ			

れなく死んだ人たち、リムジン哲学者、デブのトニー、イェフゲニアなど・・・。全文読まなくてもこれらの記述を読むだけで十分に本書のエッセンスは体得できるように思う（大抵は章それぞれの始めに書いてある）。

すべて	526P (500分)	上p. 26-27	2011/05/04 13:27:10

MagicKittyGuy
☆☆☆☆

「リスク管理がリスクを生む」
不確実性だとか偶然とか，そういうものについて
著者が思いのままにつらつらと書いている

私たちはどうすればいいのか
とかそんな啓蒙的なことは一切与えようともしていないし
(そんなことをしたらむしろ彼のコンセプトに反すると思う),
著者の頭が良いせいか，情報があちこちのリンクに飛びまくって
回転の遅い自分にはむしろノイズとなってしまい
結局何が言いたいんだという気持ちにもなる.

しかし単なる「俺頭いいんだぜ」的な著者の○ナニー本ではなく
シニカルジョークを織りまぜて世の中を露骨に馬鹿にするのには
何故か爽快感を感じる.

一方で過去の事象から何かにつけて法則性や型を見つけて
世の中を単純化しようとする思考をしている自分にも耳の痛い部分があり
目からウロコというか，おっしゃるとおりですという所も多々見受けられた
土下座本でもあった.

おもしろかった.

関係ないが，この本を読んでいて思い出したのがAmazonの倉庫の話.
入荷した商品は分類せず空いているところに置く.
インデックスがないほうがいいときもある.

上：P1-104,P162-293 下：ほぼ全部	470P (280分)	プロローグ	2011/04/24 14:47:47

TOPへ

たまたま

著者名	レナード・ムロディナウ	発行年	2009年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	321ページ
値段	2,100円	ISBN	978-4478004524
コメント	冗談みたいなタイトルだけど、ランダムネスという強敵と大マジメに格闘した科学者たちの果実です。あんな法則、こんなワナ。索引から攻めるのもアリな網羅性がお得ポイント。 そうそう、68ページの３つのドアの選択問題、東工大生38名にトライしてもらったら正答率18%でした。たまたま？？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
kazumura ☆☆☆☆	たまたま。 これほど扱いにくいものはない。 ついつい成功体験は自分の能力あるいは努力に、失敗は「たまたま」のせいにしてしまう。 成功だって「たまたま」かもしれないのに。 歴史の教科書を開けば「必然」ばかり並んでいる。 この本を読めば、100%の必然などありえない。 しかし、歴史において「たまたま」をどのように語るか。 なぜこうであって、ああでないのか。 理工系の端っこで歴史学をやっている自分には切実な問いだ。			
	全部	321P (300分)		2011/07/20 20:35:55
tamiko ☆☆☆	具体例とともに、法則等が紹介されており、比較的わかりやすいのではないでしょうか。 イチローが今季調子が悪いのも、「たまたま」です！ 時間をかけてゆっくり読むと、かなり勉強になると思います。			
	１章、５章、６章	90P (30分)		2011/07/05 09:56:24
Hachi ☆☆☆☆	すごい真面目な本なのにタイトルのおかげ（せい？）で取っ付きやすい感じがする。なるほどーってなるようなネタが満載。時間を取ってじっくり読みたいところ。この本がベストセラーなのもたまたまってことか。			
	適当に	100P (60分)		2011/06/28 08:51:20

プンプン ☆☆☆	出版社、映画、ホームラン王などいろいろな例があって面白いと思いました。またじっくり読んでみようと思います。 7*7=48で宝くじを当ててみたいです。			
	1-34	34P (30分)		2011/06/13 18:08:17

shonanboy ☆☆☆	日常の統計的事象をロジカルに書かれている本。 さらっと読もうとしたのですが、短時間で立ち読みするには重かったです。ただ、しっかり読みたい人、東工大で統計を使う人にはぴったりの本ではないかと思います。			
	1-185	185P (120分)		2011/06/07 10:57:21

ジョイトイ ☆☆☆☆	確率、統計、複雑系とランダムネス関連の科学史を読んだ感じ。 はじめの方は、話が突然とんだり、結構眠くなる話が多いが終盤はかなり引き込まれるように読める。 これを読めば、人の見方も変わる可能性あり。 じっくり読む価値のある本でした。			
	1－329	329P (300分)		2011/06/06 15:46:24

ほたー ☆☆☆☆	統計学を勉強する前、あるいは勉強中ならモチベーションが上がるかも。 既知のパラドクスや概念から、過去の偉人達の全く知らなかったエピソードに至るまで充実の内容で、 翻訳された本とは思えないほど、楽しく読み進められました。 興味のある章を抜粋してじっくり読みたい、と思うような本でした			
	1-216	216P (130分)	もくじ	2011/05/31 11:51:57

cibot ☆☆☆☆	統計学を勉強したり研究で数字を扱う際は、「測定誤差」というものを非常に意識するが、日常のこととなるとどうしてもその存在を忘れがちになってしまいます。 そういった意味で、ニュースや新聞などの、何気ない数字には気を付けようと再認識させられました。			
	第七章	30P (30分)		2011/05/17 16:16:46

varen ☆☆☆	日常の中で何気なく確率を使う時がありますが、その確率は本当に正しいものですか？ 日常への間違った確率の応用の一例とともに話が進むので、確率の基礎を学んでいるような気分になります。 物事を確率的に考える事が多い人は読んでみてもいいんじゃないでしょうか？			
	14-119	105P (90分)		2011/05/17 04:00:49

lack ☆☆☆	ものすごく経験則的なものが書かれている本だと期待して読んでみたが、実際は勉強になりそうなぐらい統計学の内容でした。			
	第６章	29P (20分)		2011/05/16 13:25:06

otanitaku ☆☆☆	言ってることは分かるんだけど、何となくしっくりこない、って感じの本			
	35-92	58P (30分)	38	2011/05/10 12:37:49

	偶然や確率について普段我々がどう感じているか，そしてそれは正しいのか，といったことが数々のエピソードや実験を通して述べられています。統計学の発展に足跡を残した人々の紹介もされているので，統計学を少しでも勉強した人なら読みやすいでしょう。

aira ☆☆☆	統計学者が株やギャンブルで大稼ぎしていれば，もはや大学で統計学を教える人はいなくなるはず。でも，そうはなっていない。なぜなら…。			
	全部	329P (170分)	１７２～１７９，３０４～３２０	2011/05/07 15:19:56

ジャック ☆☆☆	内容は深いところもあるし、話も割と全部つながってると思います。 最後まで読んだらいい本かもしれませんが、立ち読みには向いていないと思います。			
	1-60	60P (70分)		2011/05/02 09:30:54

カレーの妖精 ☆☆☆	適当に流し読みしたので内容はほとんど頭に入りませんでした。 この本は時間をかけて一つ一つ考えながら読むべきなのかもしれません。確率に面白さを感じない人にとっては、どうでもいい内容ですが。			
	93-156ページ	64P (45分)		2011/04/29 17:09:48

りさ ☆☆☆	ある事象について、それはランダム現象なのかそれともパターン現象なのかを考えさせられる本です。人はランダム現象であってもどうにかしてパターン化させてしまう性質を持っているらしく、私たち理系人が研究をする際にはランダムなのかパターンなのかを慎重に見極める必要がある。研究をする際にぜひ読んでみては。			
	7-64,93-122,157-186,217-323	225P (120分)	258-260,269-273,279-284	2011/04/29 08:25:27

がぶりんぐ ☆☆☆	確率についてなんだか分かったような…、分からなくなったような…、混乱している感じです。 モンティ・ホール問題（67-72ページ, 84-88ページ）はじめ、 誕生日問題（98-100ページ）、 ゼノンのパラドックス（140-143ページ）、 ギャンブラーの誤謬（152,153ページ） などトピックスとして再考してみて興味深いものは多々あります。			
	3-185ページ	183P (180分)	67-72ページ, 84-88ページ	2011/04/18 18:20:17

ＴＯＰへ